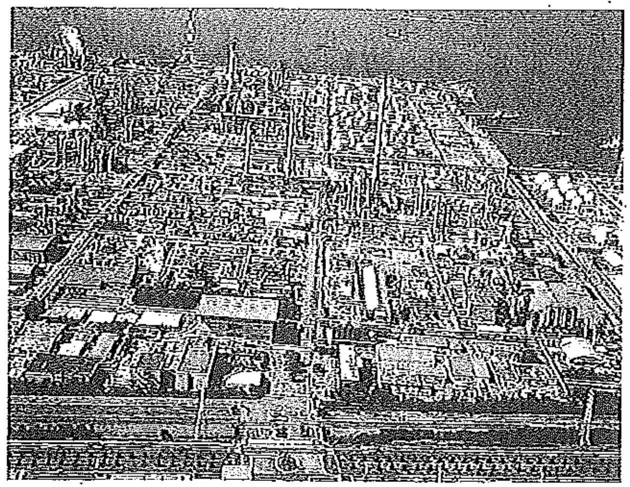
三井化学、エチレン奪首

印刷・情報用紙　日本製紙が減少


三井化学のエチレン工場（千葉県市原市）

《素材・エネルギー》2011年の国内エチレン市場は世界的な化学品の需要減が響き10年比4・7%縮小した。大手がすべて生産量を減らしており、業界全体の停滞感は否めない。

前回首位だった三菱化学は東日本大震災の影響で主力の鹿島事業所が一時停止したため2位に後退。代わって三井化学が16・6%で首位に返り咲いた。3位以下に大きな変動はない。三菱化学は鹿島に2基あるエチレン設備のうち1基を14年に廃止する。過剰設備の整理が今後の焦点となりそうだ。

印刷・情報用紙では首位の日本製紙が、主力の石巻工場（宮城県石巻市）が津波で操業を停止したためシェアを落とした。3位の北越紀州製紙と4位の大王製紙は震災の影響を受けず、代替供給でシェアを伸ばした。

ガソリンはJX日鉱日石エネルギーが33・5%で圧倒的だが、給油所合理化の影響などでシェアは微減となった。

・アルミニウム圧延品は古河スカイや住友軽金属工業など大手が軒並みシェアを落とした。自動車生産が落ち込み、自動車材などを多く手掛ける大手を直撃した形だ。

携帯電話機　アップル急増、肉薄

《情報・通信》富士通がスマートフォン（高機能携帯電話＝スマホ）「アローズ」や中高年向け携帯電話「らくらくホン」シリーズの販売増で首位になった。米アップル日本法人はKDDI（au）が2011年10月からスマホ「iPhone（アイフォーン）」の取り扱いを始めたことで販売が急増した。

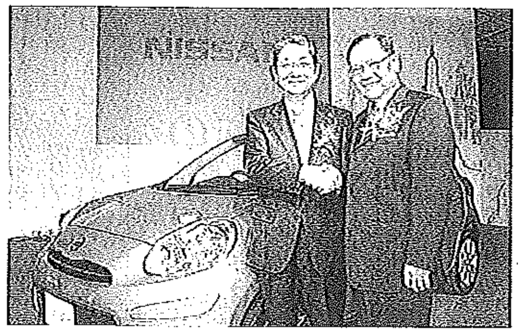
前回1位だったシャープはスマホの販売不振で3位に。パナソニックモバイルコミュニケーションズもスマホの発売時期が遅れてシェアを落とした。ソニーモバイルコミュニケーションズはスマホ「エクスペリア」シリーズが好調だった。

パソコンの国内出荷は企業向けを中心に振るわず前年を下回った。首位は昨年7月にパソコン事業を統合したNECと中国レノボ・グループ。NECは前年まで首位争いを演じていた富士通を引き離した格好だ。

東芝は他の国内メーカーに先駆けて投入した薄型で軽量なノートパソコン「ウルトラブック」が好調で、シェアを伸ばした。

輸入車　日産、2位に躍進

タイから逆輸入


日産はタイで生産した小型車「マーチ」を日本に輸入

《自動車》輸入乗用車は東日本大震災で国産車の供給が不足した結果、販売台数は前年比22%増となった。ボルボやフィアットなど中堅メーカーが台数を大きく伸ばす一方、フォルクスワーゲン、BMW、メルセデス・ベンツの独大手3社は、販売台数を伸ばしたもののシェアは微減となった。タイから逆輸入する小型車「マーチ」が好調だった日産自動車が前回の4位から2位に躍進した。

いすゞ自動車は中型トラック「フォワード」の排ガス装置の不具合問題で出荷を一時停止し、2位に後退した。カーナビではPNDが主力のパナソニックが三洋電機との統合で首位になった。

ポータル・検索　グーグル伸びる

《ネット・メディア》メモリーカードは国内出荷量が減るなか、1位東芝、2位パナソニックと国内勢が健闘した。任天堂が昨年発売した携帯ゲーム機などの機器メーカーへの供給がけん引したもようだ。

店頭販売が主力で前回1位の米サンディスクや、同5位だった台湾キ

デジタル一眼　ニコンが奪還

《エレクトロニクス》デジタル一眼カメラはニコンが2007年以来4年ぶりに首位を奪還し

エレクトロニクス

掃除機

①パナソニック	26.7(1.6)
②日立アプライアンス	21.2(2.2)
③東芝ホームアプライアンス	20.9(▲0.1)
3社合計	68.8(3.7)
④三洋電機	14.0(▲1.5)
⑤シャープ	12.8(3.0)
出荷台数	527万台(▲5.3)

出所：日経推定

デジタルカメラ

①キヤノン	18.3(▲3.6)
②ソニー	16.3(1.6)
③ニコン	14.3(0.5)
3社合計	48.9(▲3.4)
④オリンパス	12.6(6.6)
⑤パナソニック	12.5(▲2.7)
出荷台数	950万9000台(▲10.1)

出所：全体はカメラ映像機器工業会、シェアは米IDC

ルームエアコン

①パナソニック	26.7(2.0)
②ダイキン工業	19.1(0.8)
③三菱電機	12.2(▲1.7)
3社合計	58.0(1.1)
④日立アプライアンス	11.0(▲0.8)
⑤東芝	10.4(▲0.2)
出荷台数	827万9000台(0.4)

出所：日経推定

IHクッキングヒーター

①パナソニック	52.0(0.5)
②日立アプライアンス	25.1(0.8)
③三菱電機	18.1(1.0)
3社合計	95.2(2.3)
④東芝	4.8(▲0.2)
出荷台数	77万7000台(▲12.5)

出所：日経推定

ビデオカメラ

①ソニー	31.0(0.9)
②JVCケンウッド	29.5(5.4)
③パナソニック	25.5(4.5)
3社合計	86.0(11.0)
④キヤノン	14.0(▲0.4)
出荷台数	172万4000台(▲4.0)

出所：日経推定

携帯音楽プレーヤー

①ソニー	54.1(9.7)
②アップル日本法人	38.6(▲9.6)
③トランセンドジャパン	1.9(▲0.3)
3社合計	94.6(▲0.2)
④日立リビングサプライ	1.5(—)
⑤グリーンハウス	1.0(0.1)
国内出荷台数	588万9000台(▲14.9)

出所：全体は電子情報技術産業協会、シェアはBCN調べ

複写機・複合機

①リコー	28.1(0.5)
②キヤノン	27.6(0.1)
③富士ゼロックス	22.9(▲0.3)
3社合計	78.6(0.3)
④シャープ	10.3(0.1)
⑤コニカミノルタビジネステクノロジーズ	8.7(▲0.1)
国内出荷台数	51万9938台(▲1.7)

出所：全体はビジネス機械・情報システム産業協会、シェアは日経推定

冷蔵庫

①パナソニック	24.3(0.3)
②シャープ	17.8(0.5)
③日立アプライアンス	15.8(▲0.4)
3社合計	57.9(0.4)
④三菱電機	14.6(1.2)
⑤東芝	11.8(▲1.6)
出荷台数	428万台(▲6.5)

出所：日経推定

薄型テレビ

①シャープ	35.0(1.3)
②パナソニック	23.5(1.3)
③東芝	21.9(▲1.1)
3社合計	80.4(1.5)
④ソニー	10.6(▲0.9)
⑤日立製作所	4.5(▲1.3)
国内出荷台数	1982万9000台(▲21.2)

出所：全体は電子情報技術産業協会、シェアは日経推定

ブルーレイ・ディスク録再機

①パナソニック	37.6(0.8)
②シャープ	23.4(▲7.3)
③東芝	20.0(8.0)
3社合計	81.0(▲4.5)
④ソニー	16.0(▲2.0)
⑤三菱電機	3.0(1.0)
出荷台数	640万台(29.4)

出所：日経推定

デジタル一眼カメラ

①ニコン	25.4(▲3.8)
②キヤノン	24.9(▲7.2)
③オリンパス	16.9(5.3)
3社合計	67.2(▲5.7)
④ソニー	15.5(2.2)
⑤パナソニック	13.0(2.3)
出荷台数	146万9000台(▲2.1)

出所：全体はカメラ映像機器工業会、シェアは米IDC

洗濯機

①東芝ホームアプライアンス	25.3(▲0.8)
②パナソニック	24.0(1.0)
③日立アプライアンス	23.9(0.4)
3社合計	73.2(0.6)
④三洋電機	13.0(▲2.0)
⑤シャープ	12.7(0.3)
出荷台数	492万台(5.2)

出所：日経推定

素材・エネルギー

アルミ圧延品

①古河スカイ	20.5(▲0.5)
②住友軽金属工業	17.9(▲0.5)
③神戸製鋼所	14.0(▲0.7)
3社合計	52.4(▲1.7)
④三菱アルミニウム	7.1(▲0.1)
⑤日本軽金属	3.8(▲0.4)
国内生産量	198万8535トン(▲3.4)

出所：全体は日本アルミニウム協会、シェアは日経推定

印刷・情報用紙

①日本製紙	24.7(▲4.4)
②王子製紙	21.3(1.3)
③北越紀州製紙	16.3(2.7)
3社合計	62.3(▲0.4)
④大王製紙	12.8(2.5)
⑤中越パルプ工業	5.2(0.5)
国内生産量	876万5964トン(▲8.2)

出所：日本製紙連合会

合成ゴム

①JSR	26.7(▲0.1)
②日本ゼオン	17.2(0.3)
③旭化成	7.6(▲1.0)
3社合計	51.5(▲0.8)
④宇部興産	7.3(▲0.4)
⑤住友化学	5.7(0.0)
国内出荷量	107万5195トン(1.0)

出所：全体は日本ゴム工業会、シェアは日経推定

ガソリン

①JX日鉱日石エネルギー	33.5(▲0.7)
②エクソンモービルグループ	17.4(0.5)
③昭和シェル石油	16.3(0.7)
3社合計	67.3(0.5)
④出光興産	15.3(▲0.2)
⑤コスモ石油	10.9(0.0)
※国内販売量	5721万キロリットル(▲1.6)

出所：全体は資源エネルギー庁、シェアは日経推定

H形鋼

①新日本製鉄	23.7(▲0.6)
②東京製鉄	23.2(2.4)
③住金スチール	13.9(▲0.9)
3社合計	60.8(▲1.1)
④ヤマトスチール	13.5(1.4)
⑤JFEスチール	12.6(▲4.2)
国内生産量	336万4592トン(5.7)

出所：日経推定

衛生用紙

①大王製紙	15.1(0.2)
②日本製紙クレシア	12.7(▲0.1)
③王子ネピア	10.5(▲0.2)
3社合計	38.3(▲0.1)
④特種東海製紙	1.4(▲0.1)
⑤北上ハイテクペーパー	0.4(0.0)
国内生産量	178万1737トン(▲0.6)

出所：日本製紙連合会

ABS樹脂

①UMG・ABS	23.9(0.1)
②テクノポリマー	23.1(▲0.1)
③東レ	14.9(▲0.9)
3社合計	61.9(▲0.9)
④日本A&L	12.4(0.2)
⑤電気化学工業	10.6(▲0.4)
国内生産－輸出＋輸入（化学工業統計、貿易統計）	31万5786トン(▲3.7)

出所：日経推定

セメント

①太平洋セメント	34.1(0.1)
②宇部三菱セメント	24.0(▲0.4)
③住友大阪セメント	19.2(0.1)
3社合計	77.3(▲0.2)
④トクヤマ	7.7(0.1)
⑤麻生ラファージュセメント	3.9(0.0)
国内販売量＋輸入量	4207万1000トン(0.7)

出所：日経推定

ステンレス鋼

①新日鉄住金ステンレス	28.1(▲1.9)
②日新製鋼	18.6(1.2)
③JFEスチール	18.2(▲0.4)
3社合計	64.9(▲1.1)
④日本冶金工業	10.0(0.2)
⑤日本金属工業	8.8(▲0.3)
国内生産量	293万318トン(▲5.0)

出所：日経推定

炭素繊維

①東レ	75.2(0.5)
②三菱レイヨン	14.1(0.5)
③帝人	10.7(▲1.0)
3社合計	100.0(0.0)
国内出荷額	711億円(2.4)

出所：日経推定

エチレン

①三井化学	16.6(0.7)
②三菱化学	14.5(▲3.6)
③出光興産	12.5(▲0.5)
3社合計	43.6(▲3.4)
④丸善石油化学	11.6(▲0.7)
⑤昭和電工	9.8(1.5)
国内出荷量	669万300トン(▲4.7)

出所：全体は石油化学工業協会、シェアは日経推計

タイヤ

①ブリヂストン	47.7(2.4)
②住友ゴム工業	23.6(▲0.1)
③横浜ゴム	18.4(1.4)
3社合計	89.7(▲3.6)
④東洋ゴム工業	9.3(▲3.2)
国内生産量	117万7761トン(0.9)

出所：全体は日本自動車タイヤ協会、シェアは日経推定

粗鋼

①新日本製鉄	30.5(▲1.0)
②JFEスチール	27.5(▲0.9)
③住友金属工業	11.9(0.3)
3社合計	69.9(▲1.6)
④神戸製鋼所	6.7(▲0.2)
⑤日新製鋼	3.5(0.1)
国内生産量	1億646万トン(▲3.9)

出所：全体は日本鉄鋼連盟、シェアは日経推定

ホットコイル

①新日本製鉄	41.6(0.9)
②JFEスチール	34.6(0.4)
③住友金属工業	8.7(▲1.1)
3社合計	84.9(0.2)
④日新製鋼	6.9(0.4)
⑤神戸製鋼所	5.3(▲0.4)
国内生産量	4052万7679トン(▲7.0)

出所：日経推定

低密度ポリエチレン

①日本ポリエチレン	30.8(▲2.4)
②プライムポリマー	19.7(1.2)
③住友化学	18.2(0.1)
3社合計	68.7(▲1.1)
④宇部丸善ポリエチレン	8.5(0.2)
⑤東ソー	7.8(0.6)
国内出荷量	133万8300トン(▲5.0)

出所：全体は石油化学工業協会、シェアは日経推計

板ガラス

①旭硝子	41.5(0.3)
②日本板硝子	26.5(▲3.7)
③セントラル硝子	17.4(▲0.7)
3社合計	85.4(▲4.1)
国内出荷量＋輸入	3億2000平方メートル(7.7)

出所：日経推定

④出光興産	15.3(▲0.2)
⑤コスモ石油	10.9(0.0)
※国内販売量	5721万キロリットル(▲1.6)

出所：全体は資源エネルギー庁、シェアは日経推定

④トクヤマ	7.7(0.1)
⑤麻生ラファージュセメント	3.9(0.0)
国内販売量＋輸入量	4207万1000トン(0.7)

出所：日経推定

④東洋ゴム工業	9.3(▲3.2)
国内生産量	117万7761トン(0.9)

出所：全体は日本自動車タイヤ協会、シェアは日経推定

3社合計	85.4(▲4.1)
国内出荷量＋輸入	3億2000平方メートル(7.7)

出所：日経推定

一眼
奪還

ニクス》

メラは二

年以来4

を奪還した。タイ洪水で主力工場が稼働停止となり年末商戦では苦戦したが、米ＩＤＣ調査ではシェアは3・8ポイント減にとどまった。洪水前の好調が奏功したのに加え、小型軽量な「ミラーレス」型の新製品を昨年10月に発売したこともプラスに働いた。

前回首位のキヤノンは東日本大震災とタイ洪水の影響で部材調達が一時的に滞り2位だった。

ソニーはタイ洪水でミラーレス工場が停止し、3位から4位に低下。一方、洪水被害の少なかったオリンパスはシェアを伸ばした。

ブルーレイ・ディスク（ＢＤ）レコーダーは、パナソニックが30%台後半のシェアを維持し首位を守った。2位以下では東芝がシェアを大きく伸ばした。大容量のハードディスク駆動装置（ＨＤＤ）を搭載し、テレビ放送を最大15日分自動で録画し簡単に再生できる機能などが受けている。

三井住友系
リース首位に

《サービス》リース取扱高は三井住友ファイナンス＆リースが建設機械や工作機械向けなどが伸び、3位から首位に浮上。前回首位の東京センチュリーリースは伸び率が低く3位になった。

前回の4

進した。

は中型ト

ード」の

具合問題

止し、2

　カーナビ

力のパナ

電機との

った。

びる

器メーカ

ん引した

力で前回

ディスク

た台湾キングマックスは順位を下げた。新たに5位に入った台湾トランセンド・インフォメーションは国内機器メーカーへの供給に強みをもつ。

ポータル・検索では首位のヤフーが69・6%で圧倒的。だが2位のグーグルも世界最大手の強みを生かし、動画共有サイト「ユーチューブ」やウェブメール「Ｇメール」など、無料で多様なサービスと連携できる使い勝手の良さで支持を広げた。世界で「Ｂｉｎｇ」の性能向上に積極投資しているマイクロソフトも3位につけている。

プロバイダー上位3位の顔ぶれは変わらず。ａｕ ｏｎｅ ｎｅｔ（ＫＤＤＩ）は4位に浮上し、ＢＩＧＬＯＢＥ（ＮＥＣビッグローブ）を抜いた。

音楽ソフトの市場は縮小傾向が続く。キングレコードがランク外からシェアを2・4ポイント伸ばし4位に躍進した。昨年の音楽ソフトおよび映像ソフトの売り上げランキングで1位となった、女性アイドルグループ「ＡＫＢ48」がけん引した。

お断り　「宅配便」は市場規模データをまとめている国土交通省の調査発表が間に合わず、今回は掲載を見送ります。調査結果が発表され次第、掲載する予定です。

《表の見方》

①シェアの単位は%、カッコ内は同一企業のシェアの前年比変動ポイント、▲は低下。合併などで誕生した新会社は合併各社の前年のシェアが計算できる場合に合算した数字と比較した。市場規模のカッコ内は前年比増減率で、単位%、▲は減。
②シェアは小数点第2位を四捨五入した。3社合計の変動ポイントは前年の上位3社の単純合計との差。
③—は前年比較できない場合など。
④0.0はシェア、市場規模がほとんど変化しなかった場合で、横ばいとみなした。
⑤市場規模や各社のシェアに業界団体などがまとめた統計を使った場合は出所を明記した。複数の有力企業などに日本経済新聞社が取材してまとめた場合は「日経推定」とした。
⑥出所を明記した場合のシェア変動ポイントは出所先の前年比較を利用。
⑦シェアの割り出しは原則、暦年ベースだが、出荷台数などの前に※が付いている品目は年度ベース。

《調査方法》

個別品目ごとのシェアは対象商品・サービスを製造・販売・提供する企業や業界への取材、政府統計などを基に日本経済新聞社がまとめた。品目によっては、信頼性の高いデータがある場合に調査データをそのまま使用、出所を明記した。国内は原則、輸入を含む販売、輸入を含む出荷、生産などの額または量。世界シェアは同じく世界のほぼ全体または上位企業の販売、出荷、生産などの額または量を基に算出。より実態に合わせるため、前年と調査方法を変え、新たな基準で前年の数値を算定し直した品目もある。

《前年調査からの追加項目》

▷世界シェア　タブレット、スマートフォン、検索エンジン、音楽ソフト、ＳＳＤ、Ｍ＆Ａアドバイザリー、造船、たばこ、スマホ用ＯＳ、リチウムイオン電池、ＮＣ装置、セキュリティーソフト、ネット広告、冷蔵庫、洗濯機、エアコン、炭酸飲料、超音波診断装置を追加

《前年からの主な変更点と注意点》

▷国内シェア　データ出所を携帯電話で変更▷インクジェットプリンターの市場規模からＡ６プリンターを除外▷市場規模の定義をクレジットカードで変更▷ＤＶＤソフトは市場規模・シェアの算定基準を変更

▷世界シェア　ルーターの市場規模からセキュリティー製品を除外▷白色ＬＥＤでデータ出所を変更、市場規模を金額ベースから個数ベースに変更

家庭用ゲーム機

①任天堂	59.1(9.4)
②ソニー・コンピュータエンタテインメント	39.8(▲8.3)
③マイクロソフト	1.1(▲1.1)
3社合計	100.0(0.0)
国内販売台数	978万台(3.6)

出所：エンターブレイン

家庭用ゲームソフト

①任天堂	20.8(0.6)
②バンダイナムコゲームス	16.3(4.7)
③カプコン	9.4(▲2.1)
3社合計	46.5(3.2)
④スクウェア・エニックス	9.2(▲0.9)
⑤コナミ	6.8(▲1.7)
ソフト販売本数	5130万本(▲18.4)

出所：エンターブレイン

携帯電話

①ＮＴＴドコモ	46.9(▲1.6)
②ＫＤＤＩ	27.4(▲0.2)
③ソフトバンクモバイル	22.6(1.3)
3社合計	96.9(▲0.5)
④イー・モバイル	3.1(0.5)
※国内契約数	1億2820万4800件(7.3)

出所：電気通信事業者協会

広　告

①電通	25.2(1.3)
②博報堂	10.0(0.4)
③ＡＤＫ	5.3(0.1)
3社合計	40.5(1.8)
④大広	2.1(0.0)
⑤東急エージェンシー	1.5(▲0.1)
広告受注額	5兆7096億円(▲2.2)

出所：全体は電通、シェアは日経推定

インクジェットプリンター

①セイコーエプソン	46.2(3.5)
②キヤノン	37.2(▲6.1)
③ブラザー工業	9.0(2.4)
3社合計	92.4(▲0.2)
④日本ヒューレット・パッカード	6.9(0.3)
⑤リコー	0.6(▲0.1)
出荷台数	632万6000台(4.4)

出所：ガートナージャパン

プロバイダー

①ＯＣＮ（ＮＴＴコミュニケーションズ）	19.9(▲1.3)
②Yahoo!BB(ソフトバンク)	11.1(▲0.7)
③ぷらら（ＮＴＴぷらら）	8.2(▲0.7)
3社合計	39.2(▲2.7)
④au one net（ＫＤＤＩ）	7.6(▲0.2)
⑤BIGLOBE(NECビッグローブ)	7.5(▲0.4)
ブロードバンド回線の契約数	3770万件(4.0)

出所：全体は総務省、シェアは日経推定

音楽ソフト

①ソニー・ミュージックエンタテインメント	16.5(▲1.0)
②エイベックス・グループ・ホールディングス	13.3(▲0.6)
③ユニバーサルミュージック	11.6(0.0)
3社合計	41.4(▲1.6)
④キングレコード	6.8(2.4)
⑤ジェイ・ストーム	6.0(▲0.5)
国内生産額	2116億円(▲6.0)

出所：オリコン

携帯電話端末

①富士通	17.9(0.6)
②アップル日本法人	17.0(8.4)
③シャープ	16.8(▲6.0)
3社合計	51.7(▲0.1)
④パナソニックモバイルコミュニケーションズ	9.5(▲2.2)
⑤ソニーモバイルコミュニケーションズ	8.9(1.5)
※国内出荷台数	4274万台(13.5)

出所：ＭＭ総研

出　版

①リクルート	15.0(1.4)
②集英社	6.0(0.6)
③講談社	5.1(0.0)
3社合計	26.1(2.0)
④小学館	5.1(0.5)
⑤角川ＧＨＤ	4.0(0.2)
国内販売額	2兆3134億円(▲4.0)

出所：日経推定

メモリーカード

①東芝	23.6(13.3)
②パナソニック	17.5(▲1.1)
③サンディスク（米）	14.2(▲6.2)
3社合計	55.3(▲6.0)
④ソニー	11.3(3.2)
⑤トランセンド・インフォメーション(台湾)	6.8(—)
※出荷量	5634万枚(▲10.0)

出所：全体は日本記録メディア工業会、シェアはテクノ・システム・リサーチの調査などを参考に日経推定

映　画

①東宝	32.6(▲3.2)
②ウォルト・ディズニー・スタジオ(米)	10.7(▲3.2)
③ワーナーブラザース映画(米)	9.9(▲1.0)
3社合計	53.2(▲7.4)
④東映	9.2(2.7)
⑤パラマウント・ピクチャーズ(米)	7.1(4.0)
洋画・邦画の国内興行収入	1811億円(▲17.9)

出所：全体は日本映画製作者連盟、シェアは日経推定

ＤＶＤソフト

①ソニー・ミュージックエンタテインメント	7.4(▲1.3)
②エイベックス・グループ・ホールディングス	6.9(▲2.4)
③ジェイ・ストーム	6.2(2.6)
3社合計	20.5(▲3.2)
④ワーナー・ホーム・ビデオ	5.4(1.5)
⑤フジテレビ	3.8(▲2.0)
国内売上高	2005億円(▲8.6)

出所：全体は日本映像ソフト協会、シェアはオリコンを基に日経推定

サーバー

①富士通	27.7(3.3)
②日本ＩＢＭ	19.9(0.3)
③日本ヒューレット・パッカード	16.0(▲0.4)
3社合計	63.6(3.0)
④ＮＥＣ	15.4(▲1.2)
⑤日立製作所	9.2(▲0.1)
メーカー出荷額	4691億700万円(4.1)

出所：ＩＤＣジャパン

光ファイバー通信回線

①ＮＴＴ東日本	42.0(0.0)
②ＮＴＴ西日本	32.4(0.1)
③ＫＤＤＩ	10.2(0.8)
3社合計	84.6(0.9)
④ケイ・オプティコム	5.8(0.0)
⑤ＵＣＯＭ	2.3(▲0.2)
※国内契約数	2226万件(9.8)

出所：ＭＭ総研

パソコン

①ＮＥＣレノボ	24.4(—)
②富士通	17.5(▲0.8)
③東芝	12.1(1.4)
3社合計	54.0(6.3)
④デル	9.1(▲0.3)
⑤日本ヒューレット・パッカード	9.0(▲0.3)
出荷台数	1574万9867台(▲3.5)

出所：全体はIDCジャパン、シェアは日経推定

動画サイト

①ユーチューブ(米グーグル)	54.6(▲2.8)
②niconico（ニワンゴ）	27.3(▲0.3)
③ＦＣ２ 動画(米ＦＣ２インク)	5.9(3.1)
3社合計	87.8(▲1.2)
④GyaO! など（ヤフー）	4.0(0.3)
⑤Woopie（米アクセスポイント）	2.2(0.8)
主要サイトの家庭パソコンからの閲覧数	628億6394万ページビュー(21.5)

出所：ニールセン

ポータル・検索サイト

①ヤフー	69.6(▲0.1)
②グーグル	11.6(0.2)
③マイクロソフト(MSN、Bingなど)	3.7(0.2)
3社合計	84.9(0.3)
④NTTレゾナント(goo)	2.6(0.0)
⑤NECビッグローブ(BIGLOBE)	2.5(0.4)
主要11サイトの閲覧数合計（家庭用パソコンからのアクセス）	3243億1289万件(1.9)

出所：閲覧数はニールセン、サイト選定とシェアは日経推定

日経HR
NIKKEI HUMAN RESOURCES

Qなぜ日経キャリアNETに登録しようとお考えになりましたか？

信頼できそうだと感じたから

［日経キャリアNET新規登録者アンケートから］（回答者数1100人、複数回答、2011年9月15日～10月12日） 69.4%

「働きたい人に職の情報を提供する」だけなら、簡単です。
「いい人（人財）をいい企業と結びつけ、
いい社会をつくる力にする」のは
誰にでもできることではありません。
高い目標を掲げ、日経キャリアＮＥＴは、
登録会員の皆様にご満足いただくために、
一つでも多くの優良求人情報の掲載を
心がけています。

これからも信頼される転職サイト。

［求人約20,000件掲載］

日経キャリアNET

日経 転職　検索　http://career.nikkei.co.jp

掲載に関するお問い合わせ／株式会社日経HR　TEL:03-6812-7307　e-mail:webeigyo@nikkeihr.co.jp　http://career.nikkei.co.jp/contents/adnet/

アサヒ、ビール首位守る

国内シェア100品目（1面参照）

表中の網掛け品目が首位交代

2011年の国内シェアの変動に大きな影響を与えたのは東日本大震災だ。だがそうした外部環境下でも、主力商品を強化する企業努力やブランド力を生かし、シェアを着実に伸ばす企業もある。

《生活・食品・医療》ビール系飲料ではアサヒビールが2年連続でトップ。シェアは0・4ポイント上昇し37・9%。2位キリンビールとの差を広げた。

「スーパードライ」と第三のビールの「クリアアサヒ」を重点ブランドに掲げ販売を強化。スーパードライは飲食店で氷点下で提供する「エクストラコールド」の店舗を増やし、ビール離れが進む若者や女性を取り込んだ。

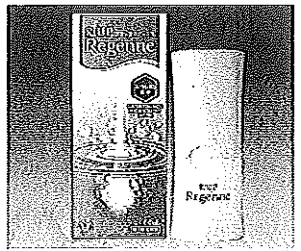
クリアアサヒはテレビ広告とスーパーでの売り場づくりなどの販促活動が奏功。過去最高の売上高となった。

アサヒは飲食店で氷点下で提供する「エクストラコールド」が人気に（東京・中央）

育毛剤・発毛剤 大正製薬、5割に

育毛剤・発毛剤は市場規模が361億円（小売りベース）に縮むなか、大正製薬がシェアを5割に乗せた。主力の発毛剤「リアップ」はやや売り上げを落としたが、シェアは3・7ポイント上げた。2位の花王も「サクセス」をリニューアルし、シェアを伸ばした。「モウガ」が主力のバスクリンが6位以下から5位に浮上した。

総合感冒薬も首位はトップブランド「パブロン」をもつ大正製薬。売れ筋製品に需要が集中した結果、上位3社のシェアが上昇した。11年はシェアを大きく変動させる新製品はなかった。そうした中でライオンが解熱鎮痛剤「バファリン」ブランドを使った総合感冒薬の販売に力を入れ、徐々にシェアを伸ばしている。今後は6位以下の動きも注目される。



大正製薬は昨年11月、女性向け発毛剤を「リアップリジェンヌ」としてリニューアル

紳士服では上位3社が軒並みシェアを落とした。節電で機能性素材を使ったシャツなどクールビズ関連商品の需要はあったが、震災の影響が大きく伸びが限られた。

今回から調査基準を連結ベースに変更した結果、首位は前回の三陽商会からオンワードホールディングスに入れ替わった。夏場に吸汗速乾、接触冷感などを強調した「クールシャツ」「クールパンツ」が貢献した。2位の三陽商会は震災後は売り上げを減らしたが、年度後半は前年並みの水準に戻した。4位のワー

売情 0・

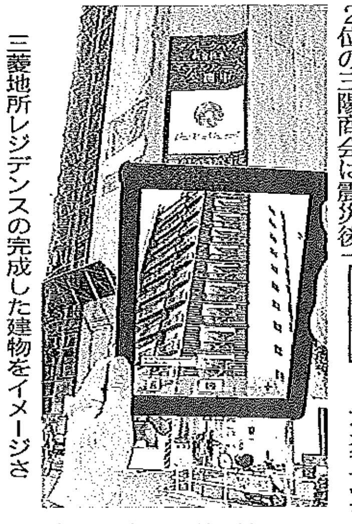
NC旋盤 ヤマザキマザック、1位不動

《機械・環境》NC（数値制御）旋盤の1～3位は5年以上前から不動で、3社合計のシェアも拡大した。首位のヤマザキマザックはエネルギー産業向けが好調で、中・大型機種の生産が伸びた。自動車業界からの受注も取り込んだ。

森精機製作所は国内や北米市場向けが好調。ツガミはスマートフォン向け需要を取り込んだが、中国工場の拡大で国内生産は減少した。

太陽電池では首位のシャープが安価な輸入品に押され、シェアを3・9ポイント落とした。2位の京セラはメガソーラー向けに販売

4位 プの 宅・ 化し 上げ 風 使わ た日 びた



三菱地所レジデンスの完成した建物をイメージさせる試み（東京・新宿）

マンション 三菱地所

《 ヨン 所レ 位。 ヨン を強 た。 産は た。 位。

自動車

軽自動車

①ダイハツ工業	35.8	(0.9)
②スズキ	31.3	(▲1.2)
③日産自動車	9.6	(1.1)
3社合計	76.7	(0.0)
④ホンダ	8.2	(▲1.1)
⑥三菱自動車	6.1	(▲0.2)
国内新車販売台数	152万1145台	(▲11.9)

出所：全国軽自動車協会連合会

輸入乗用車

①フォルクスワーゲン	19.4	(▲2.5)
②日産自動車	19.3	(6.7)
③BMW	13.1	(▲2.1)
3社合計	51.8	(0.2)
④メルセデス・ベンツ	12.7	(▲1.8)
⑤アウディ	8.1	(0.2)
販売台数	26万707台	(22.2)

出所：全体、シェアとも日本自動車輸入組合調べ

乗用車（軽自動車を除く）

①トヨタ自動車	45.0	(▲4.5)
②日産自動車	16.4	(1.3)
③ホンダ	15.9	(▲0.7)
3社合計	77.3	(▲3.9)
④マツダ	5.5	(0.1)
⑤スズキ	3.2	(1.2)
国内販売台数	238万6036台	(▲18.5)

出所：日本自動車販売協会連合会

カーナビ（純正品を除く）

①パナソニック	41.5	(23.1)
②パイオニア	31.5	(9.6)
③富士通テン	13.5	(▲3.2)
3社合計	86.5	(19.6)
④アルパイン	4.4	(▲1.1)
⑥JVCケンウッド	2.0	(0.2)
出荷台数	226万台	(▲1.7)

出所：日経推定

二輪車

①ホンダ	51.4	(2.5)
②ヤマハ発動機	23.6	(▲0.9)
③スズキ	17.9	(▲0.9)
3社合計	92.9	(0.7)
④川崎重工業	2.9	(▲0.1)
⑤ハーレーダビッドソン	2.7	(0.2)
国内販売台数	42万3999台	(6.0)

出所：日経推定

普通トラック

①日野自動車	38.3	(4.5)
②いすゞ自動車	28.7	(▲5.3)
③三菱ふそうトラック・バス	17.4	(0.2)
3社合計	84.4	(▲0.6)
④UDトラックス	15.6	(0.6)
輸入を除く国内販売台数（積載量4トン以上、大型と中型の合計）	5万3122台	(6.8)

出所：日経推定

住建

マンション

①三菱地所レジデンス	6.2	(▲0.2)
②野村不動産	5.8	(▲0.1)
③三井不動産レジデンシャル	5.8	(▲0.1)
3社合計	17.8	(▲0.6)
④大京	5.0	(▲1.3)
⑤住友不動産	3.5	(▲2.1)
新規発売戸数	8万6582戸	(2.2)

出所：全体、個別ともに不動産経済研究所

戸建て住宅

①積水ハウス	4.1	(0.3)
②積水化学工業	2.5	(0.2)
③タマホーム	2.4	(0.3)
3社合計	9.0	(0.8)
④大和ハウス工業	2.4	(0.1)
⑥旭化成ホームズ	2.3	(0.2)
※持ち家・分譲戸建て販売	42万2801戸	(0.2)

出所：全体は国土交通省、シェアは日経推定

木造住宅用アルミサッシ・ドア

①LIXILグループ	48.6	(▲1.5)
②YKKAP	31.6	(0.9)
③三協立山	19.4	(0.6)
3社合計	99.6	(0.0)
国内出荷量	15万6515トン	(2.6)

出所：全体は経済産業省、シェアは日経推定

サービス

ゴルフクラブ

①ダンロップスポーツ	22.3	(0.5)
②ブリヂストンスポーツ	14.4	(0.0)
③テーラーメイドゴルフ	13.3	(▲0.3)
3社合計	50.0	(0.2)
④キャロウェイゴルフ	11.1	(▲0.6)
⑥ミズノ	6.7	(0.5)
国内出荷額	766億円	(▲4.4)

出所：日経推定

硬式テニスラケット

①アメアスポーツジャパン	23.3	(▲2.7)
②ヨネックス	22.8	(2.4)
③ダンロップスポーツ	22.6	(▲2.8)
3社合計	68.7	(▲3.1)
④グローブライド	13.8	(▲0.9)
⑥HEAD Japan	8.2	(2.2)
国内出荷額	53億円	(▲3.6)

出所：日経推定

電子マネー

①スイカ	25.5	(3.1)
②ナナコ	25.4	(0.3)
③ワオン	24.2	(0.5)
3社合計	75.1	(2.9)
④楽天エディ	15.8	(▲2.0)
⑤パスモ	8	(▲1.0)
※主要6電子マネー（前払い式）の決済件数	24億642万件	(18.5)

出所：日経推定

リース

①三井住友ファイナンス＆リース	10.7	(1.1)
②三菱UFJリース	10.1	(0.5)
③東京センチュリーリース	10.0	(0.1)
3社合計	30.8	(1.8)
④オリックス	9.3	(1.1)
⑥日立キャピタル	8.6	(▲0.7)
※国内リース取扱高	4兆8442億円	(1.0)

出所：全体、シェアともに日経推計

クレジットカード

①三菱UFJニコス	14.7	(▲0.5)
②三井住友カード	11.9	(0.2)
③クレディセゾン	10.6	(▲2.4)
3社合計	37.2	(▲2.7)
④イオンクレジットサービス	8.6	(0.4)
⑥セディナ	6.9	(▲0.4)
※ショッピング利用額	31兆9791億円	(5.4)

出所：全体は経済産業省、シェアは日経推計

国内航空

①全日本空輸	49.3	(2.8)
②日本航空	36.6	(▲4.0)
③スカイマーク	7.6	(2.3)
3社合計	93.5	(1.1)
④北海道国際航空（エア・ドゥ）	2.3	(0.2)
⑤スカイネット・アジア航空（ソラシド・エア）	1.4	(0.1)
国内定期便の旅客数	7905万人	(▲3.8)

出所：全体は国土交通省、シェアは日経推定

国際航空貨物

①日本通運	22.2	(▲0.3)
②郵船ロジスティクス	13.3	(0.2)
③近鉄エクスプレス	12.7	(▲1.2)
3社合計	48.2	(▲1.3)
④阪急阪神エクスプレス	6.3	(0.1)
⑥西日本鉄道	5.4	(▲0.5)
※日本発航空貨物、輸出・重量ベース	99万6379トン	(▲7.4)

出所：全体は航空貨物運送協会、シェアは日経推定

人材派遣

①リクルート	6.4	(0.6)
②テンプホールディングス	4.5	(0.5)
③パソナグループ	3.5	(0.2)
3社合計	14.4	(1.3)
④アデコ	3.1	(0.4)
⑤マンパワーグループ	1.8	(0.2)
※国内労働者派遣事業の売上額合計	5兆1330億円	(▲4.0)

出所：日経推定

国内旅行

①JTB	23.2	(▲0.6)
②楽天トラベル	7.3	(1.2)
③日本旅行	6.0	(▲0.1)
3社合計	36.5	(0.5)
④近畿日本ツーリスト	5.8	(▲0.3)
⑤ANAセールス	4.7	(0.1)
※主要各社の取扱高	3兆7670億円	(▲1.4)

出所：全体は観光庁、シェアは日経推定

海外旅行

①JTB	23.1	(0.5)
②エイチ・アイ・エス	14.9	(2.0)
③阪急交通社	10.6	(1.1)
3社合計	48.6	(3.6)
④近畿日本ツーリスト	6.2	(0.1)
⑥日本旅行	6.0	(0.4)
※主要各社の取扱高合計	2兆2345億円	(2.0)

出所：全体は観光庁、シェアは日経推定

ホテル

①プリンスホテル	9.2	(0.5)
②東急グループ	5.3	(0.8)
③阪急阪神第一ホテルグループ	4.3	(0.1)
3社合計	18.8	(1.4)
④ホテルオークラ	4.0	(0.5)
⑥ニューオータニ	3.8	(0.7)
※主要各社の売上高合算値	1兆4800億円	(▲5.0)

出所：日経推定

生活

化粧品

①資生堂	23.2	(▲0.5)
②カネボウ化粧品	16.7	(0.2)
③コーセー	9.9	(▲0.4)
3社合計	49.8	(▲0.7)
④ポーラ・オルビスHD	8.6	(0.0)
⑤花王	6.4	(0.1)
国内出荷額	1兆1823億円	(▲1.9)

出所：全体は経済産業省、シェアは日経推定

シャンプー・リンス

①花王	24.2	(▲1.1)
②P＆Gジャパン	19.9	(0.1)
③資生堂	16.5	(▲2.8)
3社合計	60.6	(▲3.8)
④ユニリーバ・ジャパン	16.3	(▲1.1)
国内出荷額	2225億円	(2.7)

出所：全体は経済産業省、シェアは日経推定

歯磨き

①ライオン	30.3	(▲2.0)
②花王	21.2	(▲0.1)
③サンスター	18.8	(1.2)
3社合計	70.3	(▲1.0)
④アース製薬	10.6	(1.1)
⑥小林製薬	5.3	(0.3)
国内出荷額	993億1200万円	(5.7)

出所：全体は日本歯磨工業会、シェアは日経推定

台所用洗剤

①花王	36.7	(0.2)
②P＆Gジャパン	30.0	(▲0.1)
③ライオン	24.9	(0.0)
3社合計	91.6	(0.1)
国内出荷額	513億4400万円	(4.5)

出所：全体は日本石鹸洗剤工業会、シェアは日経推計

衣料用合成洗剤

①花王	41.1	(0.1)
②ライオン	31.8	(▲1.0)
③P＆Gジャパン	26.4	(0.5)
3社合計	99.3	(▲0.4)
出荷金額	1901億円	(0.0)

出所：全体は経済産業省、シェアは日経推計

紳士服

①オンワードHD	2.8	(▲0.1)
②三陽商会	1.7	(▲0.1)
③レナウン	1.6	(▲0.1)
3社合計	6.1	(▲0.3)
④ワールド	1.4	(0.1)
⑥ファイブフォックス	1.1	(▲0.1)
国内販売額	2兆4375億円	(1.6)

出所：日経推定

婦人服

①ワールド	3.6	(0.3)
②オンワードHD	3.4	(0.0)
③TSIHD	2.1	(—)
3社合計	9.1	(0.3)
④イトキン	1.7	(▲0.1)
⑥クロスプラス	1.4	(0.0)
国内販売額	5兆5746億円	(0.4)

出所：日経推定

婦人下着

①ワコールホールディングス	34.0	(2.0)
②トリンプ・インターナショナル・ジャパン	12.9	(0.0)
③グンゼ	3.7	(0.0)
3社合計	50.6	(2.0)
④シャルレ	3.8	(▲0.1)
⑥セシール	3.2	(0.4)
※国内販売額	3640億円	(0.3)

出所：日経推計

ビール系飲料

第三のビール

ウイスキー

清涼飲料

減らした
前年並み
。4位の

ージさ

不動

で国内生
首位のシ
輸入品に
を3・9
位の京セ
ー向けに

ワールドは店頭からの販売情報の活用でシェアを0・1ﾎﾟｲﾝﾄ上げた。

菱地所系、初の首位

《住宅・建設》マンション発売戸数では三菱地所レジデンスが初の首位。三菱地所系のマンション事業を統合し、規模を強みに供給力を増した。同率2位の野村不動産は戸数を僅差で上回った。前回1位の大京は4位。数より収益性を重視する戦略を強めた。

注文住宅と分譲住宅を合わせた11年度の戸建て住宅市場は前年比0・2%増の42万2801戸。東日本大震災後の電力不足問題などで省エネ住宅の需要が膨らんだ。

首位は積水ハウス。太陽光発電パネルや高効率給湯器「エネファーム」を搭載した省エネ住宅「グリーンファースト」の販売が好調だった。販売棟数の中で省エネ住宅が占める割合も7ﾎﾟｲﾝﾄ上げ78%に高めた。

2位の積水化学工業は昨春発売した太陽光発電パネルと家庭用エネルギー管理システム（HEMS）を搭載した「スマートハイム」の販売がけん引した。

タマホームは強みとする低価格住宅で1次取得者層の需要を取り込み3位に浮上した。

販売攻勢を強めたほか、4位の三菱電機もグループの営業力を生かして住宅・非住宅向け販売を強化し、わずかにシェアを上げた。

風力発電機は増速機を使わない製品がけん引した日本製鋼所が大きく伸びた。

生活・食品・医薬

3社合計	99.3	(▲0.4)
出荷金額	1901億円	(0.0)

出所：全体は経済産業省、シェアは日経推計

④ワールド	1.4	(0.1)
⑥ファイブフォックス	1.1	(▲0.1)
国内販売額	2兆4375億円	(1.6)

出所：日経推定

④イトキン	1.7	(▲0.1)
⑥クロスプラス	1.4	(0.0)
国内販売額	5兆5746億円	(0.4)

出所：日経推定

④シャルレ	3.8	(▲0.1)
⑥セシール	3.2	(0.4)
※国内販売額	3640億円	(0.3)

出所：日経推計

ビール系飲料

①アサヒビール	37.9	(0.4)
②キリンビール	36.2	(▲0.5)
③サントリー酒類	13.3	(0.4)
3社合計	87.4	(0.3)
④サッポロビール	11.6	(▲0.4)
⑥オリオンビール	0.9	(0.0)
課税済み出荷量	4億4238万ｹｰｽ	(▲3.7)

出所：大手5社発表

ハム・ソーセージ

①日本ハム	21.2	(0.0)
②伊藤ハム	19.8	(0.0)
③丸大食品	17.1	(0.1)
3社合計	58.1	(0.1)
④プリマハム	10.5	(0.9)
⑥米久	8.0	(▲0.2)
※国内生産量＋輸入量	56万5337ﾄﾝ	(2.1)

出所：全体は日本ハム・ソーセージ工業協同組合、シェアは日経推定

後発医薬品

①沢井製薬	7.5	(▲0.1)
②日医工	6.7	(0.2)
③大洋薬品工業（12年4月1日からテバ製薬）	6.0	(▲0.1)
3社合計	20.2	(0.0)
④東和薬品	5.4	(▲0.1)
⑥ニプロファーマ	4.7	(0.2)
※薬価ベース出荷額	9000億円	(7.1)

出所：全体は日本ジェネリック製薬協会、シェアは日経推定

第三のビール

①キリンビール	37.0	(▲1.5)
②アサヒビール	25.7	(1.2)
③サントリー酒類	23.4	(1.5)
3社合計	86.1	(1.2)
④サッポロビール	12.9	(▲1.3)
⑥オリオンビール	0.9	(0.1)
課税済み出荷量	1億5334万ｹｰｽ	(1.8)

出所：大手5社発表

冷凍食品

①ニチレイ	20.8	(0.4)
②マルハニチロホールディングス	13.8	(0.0)
③テーブルマーク	13.0	(▲0.4)
3社合計	47.6	(0.0)
④味の素冷凍食品	11.9	(▲0.1)
⑥日本水産	9.2	(0.1)
国内生産額＋冷凍野菜輸入額＋調理冷凍食品輸入額	8657億円	(4.0)

出所：全体は日本冷凍食品協会、シェアは日経推定

育毛剤・発毛剤

①大正製薬	50.2	(3.7)
②花王	17.8	(0.6)
③資生堂	7.0	(▲0.1)
3社合計	75.0	(4.0)
④第一三共ヘルスケア	6.8	(▲0.5)
⑥バスクリン	2.8	(—)
小売りベース販売額	361億円	(▲2.4)

出所：日経推定

ウイスキー

①サントリー酒類	55.6	(▲3.6)
②アサヒビール	23.7	(0.4)
③キリンビール	8.5	(0.2)
3社合計	87.8	(▲3.0)
課税移出数量	9万6115ｷﾛﾘｯﾄﾙ	(0.2)

出所：全体は課税・通関統計、シェアは日経推定

即席めん

①日清食品	39.6	(▲0.4)
②東洋水産	21.3	(0.2)
③サンヨー食品	14.5	(▲0.5)
3社合計	75.4	(▲0.7)
④明星食品	8.3	(0.0)
⑥エースコック	7.7	(▲0.3)
生産数量	55億3000万食	(4.2)

出所：全体は日本即席食品工業協会、シェアは日経推定

ドリンク剤・ミニドリンク剤

①大正製薬	39.8	(▲0.3)
②佐藤製薬	11.5	(▲0.4)
③大鵬薬品工業	8.8	(0.3)
3社合計	60.1	(▲0.4)
④武田薬品工業	6.7	(▲0.4)
⑥エスエス製薬	4.4	(▲1.0)
小売りベース販売額	2016億円	(▲2.4)

出所：日経推定

清涼飲料

①コカ・コーラグループ	28.4	(▲0.3)
②サントリー食品インターナショナル	21.9	(0.3)
③伊藤園	11.2	(0.2)
3社合計	61.5	(0.2)
④アサヒ飲料	9.9	(0.8)
⑥キリンビバレッジ	9.7	(▲0.2)
国内販売量	17億4400万ｹｰｽ	(0.8)

出所：日経推定

アイスクリーム

①ロッテ	17.2	(0.0)
②森永乳業	12.4	(▲0.3)
③江崎グリコ	12.2	(0.0)
3社合計	41.8	(▲0.3)
④明治	10.7	(▲0.1)
⑥ハーゲンダッツジャパン	8.6	(▲0.1)
※国内販売額（出荷ベース）	4058億円	(▲0.1)

出所：全体は日本アイスクリーム協会、シェアは日経推定

総合感冒薬

①大正製薬	29.7	(0.1)
②第一三共ヘルスケア	19.0	(0.1)
③武田薬品工業	11.3	(0.5)
3社合計	60.0	(0.7)
④全薬工業	7.1	(▲0.1)
⑤エスエス製薬	6.2	(▲0.2)
小売りベース販売額	986億円	(▲2.3)

出所：日経推定

ミネラルウオーター

①サントリー食品インターナショナル	25.1	(▲0.4)
②コカ・コーラグループ	18.1	(▲1.5)
③キリンビバレッジ	12.7	(▲1.0)
3社合計	55.9	(▲2.9)
④アサヒ飲料	7.4	(2.0)
⑥大塚食品	2.7	(▲1.5)
国内生産と輸入の合計	317万2207ｷﾛﾘｯﾄﾙ	(26.0)

出所：全体は日本ミネラルウォーター協会、シェアは日経推定

医療用医薬品

①武田薬品工業	7.6	(▲0.1)
②アステラス製薬	7.0	(0.0)
③第一三共	5.3	(▲0.3)
3社合計	19.9	(▲0.4)
④田辺三菱製薬	4.4	(▲0.1)
⑥エーザイ	4.2	(0.0)
薬価ベース売上高	9兆5349億円	(5.5)

出所：IMSジャパン

機械・環境

超硬工具

①住友電気工業	13.5	(0.6)
②三菱マテリアル	12.6	(0.1)
③タンガロイ	8.9	(▲0.8)
3社合計	35.0	(▲0.1)
④京セラ	8.7	(0.5)
⑥OSG	4.7	(0.1)
国内出荷額	2522億円	(3.1)

出所：全体は超硬工具協会、シェアは日経推定

風力発電量

①ユーラスエナジーホールディングス	21.1	(▲0.4)
②Jパワー	13.8	(▲0.7)
③日本風力開発	10.9	(0.1)
3社合計	45.7	(▲1.0)
④エコ・パワー	5.8	(▲0.2)
⑤クリーンエナジーファクトリー	3.7	(▲1.4)
※各社グループの風力発電設備の能力	255万ｷﾛﾜｯﾄ	(3.2)

出所：全体は日本風力発電協会、シェアは日経推定

マシニングセンター

①ファナック	22.8	(▲1.2)
②森精機製作所	17.9	(7.5)
③ヤマザキマザック	17.3	(2.1)
3社合計	58.0	(8.1)
④牧野フライス製作所	13.2	(2.5)
⑥オークマ	11.6	(2.0)
※国内生産額	4114億6100万円	(45.1)

出所：全体は経済産業省、シェアは日経推定

風力発電機

①日本製鋼所	52.7	(24.0)
②エネルコン（独）	26.2	(20.4)
③富士重工業	18.7	(13.1)
3社合計	97.6	(57.5)
※国内発電能力（2011年度設置分）	8万5100ｷﾛﾜｯﾄ	(▲70.0)

出所：全体は日本風力発電協会、シェアは日経推定

NC旋盤

①ヤマザキマザック	26.6	(3.6)
②森精機製作所	21.6	(3.1)
③オークマ	18.2	(2.3)
3社合計	66.4	(9.0)
④シチズンマシナリーミヤノ	8.7	(▲1.4)
⑥ツガミ	6.7	(▲4.5)
国内生産額	2452億6600万円	(39.4)

出所：全体は経済産業省、シェアは日経推定

船　舶

①ユニバーサル造船	13.3	(▲1.4)
②今治造船	12.3	(▲1.7)
③三菱重工業	9.0	(1.0)
3社合計	34.6	(▲2.1)
④幸陽船渠	8.4	(1.1)
⑥大島造船所	8.1	(1.0)
船舶の建造量	1647万313総ﾄﾝ	(▲5.6)

出所：全体は日本造船工業会、シェアは日経推定

プラスチック射出成型機

①ファナック	23.6	(▲0.9)
②住友重機械工業	21.2	(▲3.1)
③日精樹脂工業	16.4	(0.9)
3社合計	61.2	(▲3.1)
④日本製鋼所	12.6	(1.5)
⑥東芝機械	7.7	(1.0)
国内生産台数	1万1952台	(▲1.3)

出所：全体は日本産業機械工業会、シェアは日経推計

油圧ショベル

①コマツ	17.1	(▲10.8)
②コベルコ建機	17.0	(▲3.1)
③日立建機	16.3	(▲3.2)
3社合計	50.4	(▲17.1)
④キャタピラージャパン	14.6	(▲1.2)
⑥住友建機	7.7	(▲1.7)
国内出荷台数	1万9231台	(36.7)

出所：日本建設機械工業会

産業用ロボット

①安川電機	20.2	(▲1.2)
②パナソニック	10.4	(▲3.1)
③川崎重工業	9.5	(▲0.5)
3社合計	40.1	(▲4.8)
④ファナック	8.2	(2.7)
⑤不二越	6.0	(1.4)
国内出荷額	1679億4300万円	(12.5)

出所：全体は日本ロボット工業会、シェアは日経推計

フォークリフト

①豊田自動織機	42.7	(▲0.3)
②三菱重工業・ニチユグループ	20.5	(0.3)
③コマツ	15.7	(▲0.7)
3社合計	78.9	(▲0.7)
④TCM	9.0	(0.6)
⑥日産自動車	6.8	(0.0)
国内販売台数	6万2280台	(10.2)

出所：全体は日本産業車両協会、シェアは日経推定

太陽電池

①シャープ	32.3	(▲3.9)
②京セラ	26.0	(0.5)
③パナソニック	23.0	(—)
3社合計	81.3	(1.1)
④三菱電機	9.8	(0.2)
⑥サンテックパワー（中）	5.0	(0.0)
国内生産一輸出＋輸入	129万6073ｷﾛﾜｯﾄ	(30.7)

出所：全体は太陽光発電協会、シェアは日経推定

腕時計（外販用駆動装置含む）

①カシオ計算機	38.8	(▲0.3)
②シチズン時計	34.9	(0.9)
③セイコーグループ	23.1	(▲1.3)
3社合計	96.8	(▲0.1)
④オリエント時計	2.0	(▲0.1)
⑥リコーエレメックス	1.2	(▲0.2)
国内出荷量	640万1000個	(▲3.4)

出所：全体は日本時計協会、シェアは日経推定

おかげ様で50周年
5 th

TDCソフトはいつの時代も、
お客様のパートナーであり続けます。

TDCソフトは2012年10月に創業50周年を迎えます。
皆様のご愛顧とご支援に深く感謝し、
これからもお客様の満足と信頼の歴史を築いてまいります。

SI System Integration
PMS Project Management Service
TDCソフトの ICTソリューション
ES Enterprise Solution
CLS Cloud Solution
Trustpro　HANDyTRUSt*
MoobizSync 2.0 AppExchange

TDCSOFT since 1962
TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社
東京証券取引所市場第一部（4687）
http://www.tdc.co.jp/

老舗・大手企業に安定感

国内100品目

国内の品目では内需型産業を中心に、大手や老舗とされる企業の存在感が目立った。東日本大震災の発生や人口減少で国内市場が縮小傾向に進むなか、消費者の安心感をつかんだことがシェアにも表れた。

その代表格がホテル業界。首位のプリンスホテルが0・5ポイント伸ばし9・2%としたほか、ホテルオークラがランク外から4位に入った。

震災の余波で国内外からの観光客数は大幅に減少したが、客室単価の引き下げなど積極的な集客策で顧客を獲得。オークラはJALホテルズの買収もシェア上昇に寄与した。

海外旅行では首位のJTBが23・1%で0・5ポイント上げた。円高を追い風に海外旅行需要が伸びた要因が大きいが、知名度をフル活用して若年層から中高年層までの幅広い顧客を取り込んだ。並び座席の保証や、航空会社とホテルを予約時に確定するといった、2010年度から取り組んできたきめ細かい品質向上策も消費者の支持を集める一因となった。

婦人下着では首位のワコールホールディングスがシェアを伸ばし、2位のトリンプ・インターナショナル・ジャパンを引き離した。加齢による体形変化を考慮した「マイナス5歳」をうたうシリーズのブラジャーやボトムスが好調だった。

ホテルオークラ　買収効き上昇

JTB　並び座席確保

JTBは海外旅行のシェアを伸ばした（JTBの都内の店舗）

定番の日用品、＋αで磨き

花王

日用品では花王が定番ブランドに磨きをかけ、衣料用洗剤などでシェアを伸ばし価値を作った。

台所用洗剤では「キュキュット　ハンドビューティ」から新しい香りを発売。若い世代を中心に売り上げを伸ばした。ハンドビューティシリーズでは洗浄成分を皮膚の中までは浸透させない技術で、従来の洗浄力に「スキンケア」という発想を持ち込んだのが受けている。

さらに衣料用洗剤は「ニオイ菌を抑える」ことを前面に打ち出した「アタックNeo抗菌EXパワー」がシェアを押し上げた。

洗剤市場は寡占化が進んでおり、花王、プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン（P&G）、ライオンの3社のシェアの合計は9割を超える。

大手企業同士のシェア争いは過熱する一方で、日用品はスーパーやドラッグストアの目玉になりやすい商品特性もある。付加価値の高い製品を出し続け収益化するモデルが重みを増している。

薄型テレビ

①サムスン電子(韓)	23.8(1.4)
②LG電子(韓)	13.7(0.2)
③ソニー	10.6(▲1.8)
3社合計	48.1(▲0.2)
④パナソニック	7.8(▲0.6)
⑤シャープ	6.9(▲0.4)
売上高	1120億2000万ドル(▲1.0)

出所：米NPDディスプレイサーチ

デジタルカメラ

①キヤノン	18.8(0.3)
②ソニー	17.1(▲0.4)
③ニコン	15.2(2.9)
3社合計	51.1(2.8)
④サムスン電子（韓）	9.6(▲1.2)
⑤富士フイルム	8.6(1.2)
出荷台数	1億3700万台(▲4.9)

出所：米IDC

ビデオカメラ

①ソニー	44.0(1.3)
②パナソニック	18.0(1.1)
③JVCケンウッド	15.0(1.1)
3社合計	77.0(3.5)
④キヤノン	12.0(▲1.0)
出荷台数	1100万台(▲9.1)

出所：日経推定

インクジェットプリンター

①ヒューレット・パッカード(米)	48.2(0.1)
②キヤノン	22.5(0.9)
③セイコーエプソン	19.2(▲0.5)
3社合計	89.9(0.5)
④ブラザー工業	4.8(0.3)
⑤コダック(米)	2.4(—)
出荷台数	8010万9000台(▲3.6)

出所：ガートナージャパン

MRI

①シーメンス（独）	34.0(1.0)
②ゼネラル・エレクトリック(米)	31.0(▲1.0)
③フィリップス(オランダ)	21.0(0.0)
3社合計	86.0(0.0)
④東芝メディカルシステムズ	10.0(0.0)
⑤日立メディコ	3.5(0.5)
メーカー売上高	3292億円(1.6)

出所：日経推定

CT

①ゼネラル・エレクトリック(米)	32.1(0.1)
②シーメンス（独）	26.7(0.2)
③東芝メディカルシステムズ	25.0(0.0)
3社合計	83.8(0.3)
④フィリップス（オランダ）	14.8(▲0.2)
⑤日立メディコ	1.0(0.0)
メーカー売上高	2894億円(2.7)

出所：日経推定

超音波診断装置

①ゼネラル・エレクトリック(米)	24.0(1.0)
②フィリップス（オランダ）	21.0(0.0)
③東芝メディカルシステムズ	12.0(0.0)
3社合計	57.0(1.0)
④日立メディコ	11.8(▲0.2)
⑤シーメンス（独）	9.2(0.2)
メーカー売上高	4222億円(2.3)

出所：日経推定

M&Aアドバイザリー

①ゴールドマン・サックス(米)	11.7(1.9)
②モルガン・スタンレー(米)	9.2(▲0.8)
③JPモルガン(米)	8.4(▲0.2)
3社合計	29.3(0.9)
④バンク・オブ・アメリカ・メリルリンチ(米)	7.4(1.5)
成立したM&Aの金額	2兆5507億ドル(4.6)

出所：トムソン・ロイター、シェアは日経推定

クレジットカード

造船

①中国船舶工業集団公司(中)(CSSC)	8.0(▲0.1)
②現代重工業(韓)	7.8(1.0)
③三星重工業(韓)	6.2(1.6)
3社合計	22.0(2.5)
④大宇造船海洋(韓)	6.0(▲1.1)
⑤中国船舶重工集団公司(CSIC)(中)	5.7(1.8)
船舶の建造量	1億150万総トン(5.3)

出所：IHS資料

自動車

①ゼネラル・モーターズ(米)	11.4(0.6)
②フォルクスワーゲン(独)	10.8(1.0)
③トヨタ自動車	10.0(▲1.1)
3社合計	32.2(0.5)
④ルノー・日産自動車(仏日)	9.5(0.3)
⑤現代自動車(韓)	8.7(0.7)
完成車の販売台数	7719万7973台(3.9)

出所：調査会社FOURIN調べ

産業車両

①豊田自動織機	18.2(▲0.6)
②キオン(独)	14.8(▲1.6)
③ナコマテリアルハンドリング(米)	8.3(0.2)
3社合計	41.3(▲2.0)
④ユングハインリッヒ(独)	8.0(▲0.2)
⑤三菱重工業・ニチユグループ	6.3(1.6)
販売台数	94万1808台(27.2)

出所：全体はWITS調べ、シェアは日経推定

ベアリング

①SKF（スウェーデン）	19.4(0.8)
②シェフラー（独）	15.5(1.1)
③日本精工	13.1(▲0.3)
3社合計	48.0(1.6)
④NTN	11.2(▲1.1)
⑤ジェイテクト	9.4(▲1.0)
売上高	3兆2500億円(4.8)

出所：日経推定

原油輸送量

①フレドリクセングループ(ノルウェー)	6.3(▲0.4)
②商船三井	6.1(▲1.2)
③日本郵船	5.4(▲0.6)
3社合計	17.8(▲2.2)
④イラン国営石油会社	4.2(▲1.0)
⑤アンジェリコーシスグループ(ギリシャ)	3.7(0.0)
VLCC(大型原油タンカー)の輸送能力	1億8280万トン(10.3)

出所：英クラークソン

自動車輸送台数

①日本郵船	17.8(0.1)
②商船三井	14.8(0.8)
③ユーコー（韓）	13.1(0.4)
3社合計	45.7(1.3)
④川崎汽船	10.9(▲0.3)
⑤ワレニウス・ウィルヘルムセン（ノルウェー）	10.7(0.7)
自動車輸送能力(輸送能力2000台以上の船が対象)	351万0556台(8.8)

出所：Hesnes（ノルウェー）

NC装置

①ファナック	55.0(▲5.0)
②シーメンス（独）	22.0(2.0)
③三菱電機	17.0(1.0)
3社合計	94.0(▲2.0)
出荷台数	32万台(23.0)

出所：日経推定

粗鋼

①アルセロール・ミタル（ルクセンブルク）	6.1(▲0.3)
②河北鋼鉄集団（中）	3.9(0.2)
③宝鋼集団（中）	2.9(▲0.3)
3社合計	12.9(▲0.4)
④武漢鋼鉄集団（中）	2.5(▲0.1)
⑤ポスコ（韓）	2.5(0.1)
生産量	15億1468万5000トン(6.8)

出所：全体は世界鉄鋼協会、シェアは英メタル・ブリテン誌

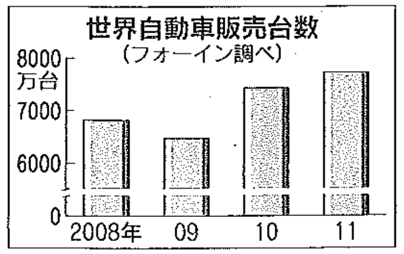
多関節ロボット

造船

上位、日本勢消える

【造船】首位に変動はなかった。前年4位に食い込んでいた今治造船が6位に転落。上位5社から日本勢が消えた。豊富な資源需要を背景にばら積み船などの建造を伸ばす中国、液化天然ガス（LNG）運搬船などの受注を伸ばす韓国大手が上位を占める構図だ。造船所の新設などがない日本では、大幅な建造量の上積みは見込みにくい状況にある。

【自動車】新興国地域の旺盛な需要がけん引して市場規模は3・9%の伸びとなった。4年ぶりに首位に返り咲いた米ゼネラル・モーターズ（GM）や、前年3位から2位に順位を上げた独フォルクスワーゲン（VW）、同5位の韓国・現代自動車などは、いずれも中国市場での販売増がシェア上昇に寄与した。



世界自動車販売台数
（フォーイン調べ）

減産を余儀なくされたトヨタ自動車は3年連続で守った首位の座を明け渡し3位に後退した。

【産業車両】インフラ整備や物流網の拡大・高度化などによる需要増で、全体の販売台数はリーマン・ショック前の水準に回復。豊田自動織機が首位を守った。上位がシェアを落としたのは中国勢の伸びが顕著なことが背景にある。欧州景気などの影響で米ナコマテリアルハンドリングと独ユングハインリッヒの順位が入れ替わった。

【ベアリング】順位に変動はなかったが、東日本大震災やタイ洪水に伴う自動車生産の落ち込みで、日本やアジアの自動車向けの販売比率が高い日本勢がシェアを落とした。首位のスウェーデンSKFは中国の鉄道向けや風力発電向けなど産業分野向けの販売を増やしたことがけん引した。

【原油輸送量】原油需要は拡大したが、リーマン・ショック前に発注した新造船の完成ラッシュで運賃は低下。船腹量を減らすため、老齢船の廃船や停船を進めた結果、商船三井は首位をノルウェーのフレドリクセングループにあけ渡し、日本郵船などの上位企業もシェアを減らした。

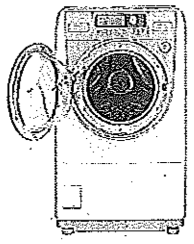
【自動車輸送台数】新興国の旺盛な需要を反映し、自動車輸送台数は増加した。商船三井が顧客メーカーの好調な生産を受けてシェアを拡大。日系自動車メーカーの海外生産の増加で輸送ルートは多様化。中国では欧州自動車メーカーの高級車が人気で、11年はアジア発だけでなく欧州発の荷動きも堅調だった。

【NC装置】工作機械の動きをコントロールする数値制御（NC）装置は、工作機械市場の拡大に合わせて出荷台数も大幅増となった。首位はファナックで、5割以上のシェアを維持した。円高で欧州勢に押されていることなどを背景にシェアは落としたが、2位独シーメンス以下に大きな差

洗濯機

中国ハイアール急伸

【洗濯機】中国の海爾集団（ハイアール）がシェアを大きく伸ばした。今後は、買収で手に入れた三洋電機の高い省エネ関連技術を武器に、高機能の製品を積極的に世界で展開していくとみられる。米ワールプールはシェアを落とした。3位の美的集団もシェアを拡大し、中国企業の好調さが目立った。



洗濯機市場で首位に立ったハイアールは省エネ技術が武器に

【冷蔵庫】中国勢が躍進を続けた。海爾集団（ハイアール）は2009年から3年連続で首位を維持し、上位10社のなかで4社を中国勢が占めた。日本勢ではパナソニックが5位に入った。国内では圧倒的なシェアを誇るパナソニックだが、世界シェアは4・5%にとどまる。

【家庭用エアコン】首位に美的集団、2位に珠海格力電器と中国勢が上位を占めた。3位にはパナソニックが入った。珠海格力電器は業務用エアコンで世界首位のダイキンと業務提携しており、今後省エネ性能の高い製品で美的を追いかける計画だ。

【ゲーム機器】販売台数は8・5%減の6887万台だった。首位だった任天堂は携帯型「ニンテンドー3DS」、2位のソニー・コンピュータエンタテインメントが「プレイステーションヴィータ」を投入したが、本格的な買い替え需要は起きなかった。手軽に遊べるスマートフォン（高機能携帯電話＝スマホ）向けのゲームが台頭しており、顧客の一部を奪われた。

【ビール系飲料】トップのアンハイザー・ブッシュ・インベブは米国で地ビールの会社を買収したほか、最大市場の中国で販売を増やし首位を保った。2位のSABミラーは新興国市場で販売を拡大。5位で中国最大手の華潤雪花ビールは企業買収でシェアを伸ばした。

【炭酸飲料】首位のコカ・コーラは欧州が伸び悩んだもののインドや南米で販売を増やした。2

洗濯機

①ハイアール(中)＊	12.3(2.5)
②ワールプール(米)	12.3(▲0.4)
③美的集団(中)	10.2(1.0)
3社合計	34.8(3.1)
④エレクトロラックス(スウェーデン)	7.9(0.2)
⑤LG電子(韓)	6.9(0.1)
出荷額	474億6420万ドル(7.9)

出所：英ユーロモニター・インターナショナル。＊同率だが出荷額で上回る

冷蔵庫

①ハイアール(中)	16.5(3.5)
②ワールプール(米)	9.4(▲0.5)
③エレクトロラックス(スウェーデン)	8.0(0.5)
3社合計	33.9(3.5)
④LG電子(韓)	5.9(0.1)
⑤パナソニック	4.5(0.0)
出荷金額	796億6740万ドル(9.5)

出所：英ユーロモニター・インターナショナル

家庭用エアコン

した「マイ
つたうシリ
ャーやボト
った。

着き

、プロク
・ギャンブ
（P&G）、
位のシェア
を超える。
エのシェア
る一方で、
ハーやドラ
目玉になり
性もある。
い製品を出
るモデル
いる。

エコカー・住宅 補助終了
今年のシェア変動要因に

特需の反動が出た薄型テレビ

燃費性能の高い自動車購入者に交付する「エコカー補助金」や、東日本大震災の復興支援の目的を加えて再開した「住宅エコポイント」が刺激役となった個人消費。ただ2012年はこれら制度の打ち切りによる反動減が懸念される。

軽自動車販売は震災による生産停滞のなか、エコカーが快走。首位のダイハツ工業は低燃費な新車でシェアを拡大した。2位のスズキは11年末の発売で、新車効果をフルに享受できずシェアを下げた。ホンダは発売がなく、3位の座を日産自動車に明け渡した。

注文・分譲住宅を合わせた戸建て住宅はエコポイントが追い風となり、電力不足を背景にした省エネ型住宅の販売が好調だった。首位の積水ハウスや2位の積水化学工業はこうした需要をうまく取り込んだ。

ただ政策支援というカンフル剤頼みだけでは需要の先食いで終わる。低燃費や省エネを強みにする新製品の発売で先行する上位企業が、下位との差を広げる可能性が高まりそうだ。

国内の薄型テレビは家電エコポイント制度と地上デジタル放送移行の「2大特需」を失い、年間で01年以降で初のマイナス成長となった。12年は大幅に縮小する見込みだ。各社は製品数の絞り込みなどで生産の効率化を急いでおり、シェアの構造にも影響しそうだ。

7月に始まった再生可能エネルギーの全量買い取り制度では、太陽電池がメガソーラー（大規模太陽光発電所）向けを中心に、中国勢がシェアを高めそうだ。

メリルリンチ（米）
成立したM&Aの金額 2兆5507億㌦(4.6)
出所：トムソン・ロイター、シェアは日経推定

クレジットカード

①ビザ・インターナショナル（米）	61.0(▲0.8)
②マスターカード・ワールドワイド（米）	27.6(0.5)
③アメリカン・エキスプレス（米）	9.2(▲0.1)
3社合計	97.8(▲0.4)
④ジェーシービー	1.9(0.4)
⑤ダイナースクラブ（米）	0.3(0.0)
ショッピング取扱高（デビット含む）	8兆8115億㌦(16.4)

出所：日経推定

④武漢鋼鉄集団（中）	2.5(▲0.1)
⑤ポスコ（韓）	2.5(0.1)
生産量	15億1468万5000㌧(6.8)

出所：全体は世界鉄鋼協会、シェアは英メタル・ブリテン誌

多関節ロボット

①ファナック	18.0(3.7)
②ABB（スイス）	12.8(2.4)
③KUKAロボター（独）	11.5(3.7)
3社合計	42.3(6.3)
④安川電機	11.5(0.2)
⑤川崎重工業	4.4(▲1.8)
出荷台数	16万5000台(43.5)

出所：全体は国際ロボット連盟、シェアは日経推計

NC）装置
場の拡大
台数も大
首位はフ
5割以上の
した。円高
されている
景にシェア
2位独シ
に大きな差をつけた。

【粗鋼】首位のアルセロール・ミタル（ルクセンブルク）が9000万㌧を超える生産量で他メーカーを圧倒する構図に変化はなかったが、新日本製鉄を韓国ポスコが追い抜き、5位に浮上した。ポスコは中国の経済成長を追い風に増産を継続。ポスコと同様、中国の河北鋼鉄集団や宝鋼集団、武漢鋼鉄集団も高水準の生産を続け、上位を維持した。

【多関節ロボット】自動車製造時の溶接作業などを担う多関節ロボット。首位は昨年に続きファナックだった。国内外の自動車関連などの需要を取り込み、11年12月には新たな生産設備も稼働させた。2位はABB、3位はKUKAロボターなど欧州勢が位置し、上位3社でシェアは4割超となった。

独シーメンス
微増で首位守る

MRI

【MRI】磁気共鳴画像装置（MRI）は1・6%増の3292億円とわずかな伸びにとどまった。首位の独シーメンスは2010年に投入した磁場が3テスラ（テスラは磁場の強さ）、1・5テスラの機種が好調でシェアを微増させた。2位の米ゼネラル・エレクトリック（GE）は微減となった。

【CT】コンピューター断層撮影装置（CT）の市場規模は2・7%増の2894億円となった。首位の米ゼネラル・エレクトリック（GE）は日本の顧客の要望を取り入れて開発した小型で使用電力を低減した機種が海外でも好調だった。2位独シーメンスも放射線量の低減性能を高めた機種で攻勢をかけた。

【超音波診断装置】世界市場規模は2・3%増の4222億円だった。新興国を中心に数量が伸びた一方、小型や価格の安い機種が多く、金額ベースでの増加率は小幅となった。首位の米ゼネラル・エレクトリック（GE）は3Dで胎児の画像などを見ることができる機種が好調で、シェアを微増させた。

【M&Aアドバイザリー】ゴールドマン・サックス、モルガン・スタンレー、JPモルガンの米系3強体制が続いた。米国はM&A（合併・買収）市場のおよそ3割を占める。世界全体でM&A市場が2兆5507億㌦と4・6%増える中、米国を基盤とする大手が助言業務で優位性を維持した。

【クレジットカード】順位に変動はなかった。ビザ・インターナショナルはシェアを0・8㌽落としたものの、マスターカード・ワールドワイドとアメリカン・エキスプレスの3社で97%を超えるシェアを握る構図は変わらなかった。ショッピング取扱高（デビット決済を含む）は16・4%増の8兆8115億㌦とプラスに転じた。

サムスン・LGで4割迫る

薄型テレビ

【薄型テレビ】競争激化に伴う価格下落を受けて、売上高ベースでの市場規模が縮小した。そのなかで韓国勢2社がシェアを伸ばす一方、ソニーやパナソニックなど日本勢のシェアは軒並み縮小した。

最大手サムスン電子はシェアを1・4㌽、LG電子は0・2㌽拡大させて、かつて日本勢が席巻した薄型テレビ市場の37・5%を韓国勢に握られた。

【デジタルカメラ】トップのキヤノンはデジタル一眼レフ「EOS」やコンパクトデジカメ「パワーショット」などの各シリーズが全世界で安定した人気を獲得。東日本大震災やタイ洪水の影響による部品調達難に苦しんだが、わずかだがシェアを伸ばした。

ニコンは、欧米でコンパクトの販売を伸ばした。タイ洪水でデジタル一眼レフの主力工場が停止したが、上半期の好調でカバーした。

【ビデオカメラ】日本勢の独占状態が続いた。首位のソニーは、40%超のシェアを維持、パナソニック、JVCケンウッドと続いた。4位のキヤノンまでのシェアを合計すると90%近くに上る。

ただ市場規模は、長引く世界景気の低迷で2010年に続き11年も前年割れとなった。一部業務用では4Kと呼ばれる高解像度対応の製品が出始めており、12年以降に民生向けでも広がる可能性がある。

【インクジェットプリンター】米ヒューレット・パッカードが5割に迫る勢いで独走を続けている。印刷したい画像などをスマホからプリンターあてに送信すれば、その場で画像が印刷できる機能が人気だ。

2位のキヤノンは、新興国、特にアジア地域での販売が堅調でシェアを伸ばした。普及モデルから上位モデルまで幅広い製品群を扱っており、各地域に合わせた営業戦略が、販売拡大につながった。

ールは企業
を伸ばし
首位のコ
欧州が伸び
インドや南
やした。2位のペプシコも新興国市場で販売を増やしたが、シェアを落とした。4位のサントリーホールディングスは買収した仏オランジーナの販路を活用するなど海外市場の開拓を進めたがシェアは変わらずだった。

【たばこ】堅調な内需に支えられ、トップの中国たばこ総公社はシェアを拡大し、本数ベースで4割を超えた。上位でシェアの下落が目立ったのは日本たばこ産業（JT）。東日本大震災の影響で国産葉タバコの調達が滞ったほか工場も被災し、一時は国内の全銘柄の出荷を停止した。

---

④LG電子（韓）	5.9(0.1)
⑤パナソニック	4.5(0.0)
出荷金額	796億6740万㌦(9.5)

出所：英ユーロモニター・インターナショナル

家庭用エアコン

①美的集団（中）	8.6(0.6)
②珠海格力電器（中）	6.1(0.2)
③パナソニック	4.3(0.2)
3社合計	19.0(1.0)
④ジャーデン（米）	3.5(▲0.3)
⑤China Singfun Electric Group（中）	2.3(0.0)
出荷額	660億9470万㌦(16.2)

出所：英ユーロモニター・インターナショナル

ゲーム機器

①任天堂	41.3(▲6.8)
②ソニー・コンピュータエンタテインメント	38.9(0.7)
③マイクロソフト（米）	19.8(6.1)
3社合計	100.0(0.0)
販売台数	6887万台 (▲8.5)

出所：日経推定

ビール系飲料

①アンハイザー・ブッシュ・インベブ（ベルギー）	18.3(▲0.1)
②SABミラー（英）	9.8(0.4)
③ハイネケン（オランダ）	8.8(0.2)
3社合計	36.9(0.5)
④カールスバーグ（デンマーク）	5.6(▲0.1)
⑤華潤雪花ビール（中）	5.4(0.4)
消費量	1億8973万㌔㍑(1.8)

出所：英ユーロモニター・インターナショナル

炭酸飲料

①コカ・コーラ（米）	53.1(0.9)
②ペプシコ（米）	19.2(▲0.5)
③ドクターペッパースナップルグループ（米）	4.5(▲0.2)
3社合計	76.8(0.2)
④サントリーホールディングス	1.2(0.0)
⑤アサヒグループホールディングス	1.2(0.1)
販売額	1751億米㌦(6.5)

出所：英ユーロモニター・インターナショナル

たばこ

①中国たばこ総公社	40.6(1.2)
②フィリップ・モリス・インターナショナル（米）	14.8(0.1)
③ブリティッシュ・アメリカン・タバコ（英）	12.2(0.0)
3社合計	67.6(1.3)
④日本たばこ産業	8.7(▲0.5)
⑤インペリアル・タバコ・グループ（英）	5.0(▲0.1)
販売量	5兆7557億8500万本(0.3)

出所：英ユーロモニター・インターナショナル

DAITEC 株式会社ダイテック
電気・空調・衛生
設備CAD
NEW CADWe'll TfasIV/IV E
クラウドで、CADを使おう。
●基本料金は0円 ●利用料金は使用分だけ
●決済はクレジットカード ●お申込みはWebで
www.webcadd.com
WebCADD 検索

世界シェア50品目（1面参照）

ネット・エネ 中国勢に勢い

2011年の世界シェア50品目で目立ったのが、中国勢の躍進だ。太陽電池、造船などで中国企業がトップだったほか、ルーターの華為技術（ファーウェイ）も好調。今回新たに追加した品目のなかでは検索エンジンで百度が2位となった。中国でのネット利用者の増加などを追い風にしている。韓国勢も依然強さをみせる一方、日本勢はデジタル関連を中心に苦戦が目立った。

百度、検索エンジン2位

検索エンジンでは米グーグルが強さをみせるが、シェア9・6%で2位に食い込んだのが中国の百度だ。グーグルが撤退した中国市場では、7割とも言われるシェアを誇った。

ルーターでは華為技術（ファーウェイ）が2位を守った。太陽電池ではサンテックパワーが首位、3位、4位も中国勢が占めた。洗濯機と冷蔵庫では海爾集団（ハイアール）がトップだった。

このほか、韓国勢も強さをみせ、スマートフォン（高機能携帯電話=スマホ）ではサムスン電子が商品力の強さなどからシェアを拡大。僅差ながら「iPhone」（アイフォーン）の米アップルをおさえて首位となった。

日本勢はリチウムイオン電池で、三洋電機を事業統合したパナソニックが首位となったが、2位のサムスンSDIとの差は0・3ポイントとわずかだった。パナソニックは住之江工場（大阪市）で予定していた増産投資を中止して、中国に3カ所目の工場を建設するなど、生産体制の再編を進めている。今年からは、各社が車載用の本格生産に乗り出す見通しで、今後のシェア争いに影響を及ぼしそうだ。

サムスンとアップル競る

スマートフォン

【スマートフォン】韓国サムスン電子と米アップルの2社が世界市場をけん引している。サムスン電子は、「ギャラクシーSⅡ」を中心に幅広い品ぞろえを用意。世界中で販売を増やした。アップルは「iPhone」のみだが、高いブランド力が強さとなっている。

一方、フィンランドのノキアはスマホの開発に出遅れ、魅力的な端末が少なく販売は低迷。「ブラックベリー」を展開するカナダのリサーチ・イン・モーション（RIM）も独自の基本ソフト（OS）の競争力が低下しシェアを落とした。

【スマホ用OS】米グーグルの基本ソフト（OS）「アンドロイド」のシェアが急増し、過半数に迫る勢いとなった。数十万種類のアプリを配信する「グーグル プレイ」やグーグルマップなど様々なサービスに連動している点が強みとなっている。

仕様を公開したことで端末メーカーやアプリ会社の新規参入にもつながっている。米アップルの「iOS」も「iPhone」の販売増でシェアを高めた。一方、従来型の携帯電話で圧倒的なシェアを持っていた「シンビアン」が低迷。スマホ向け開発に出遅れアンドロイドに差を付けられている。

【携帯電話端末】かつて約4割のシェアを持っていたフィンランドのノキアの落ち込みが目立った。スマホの基本ソフト（OS）の主流が米グーグルのアンドロイドに移る中、独自のOSに固執。販売力のある端末が少ないほか、新興国メーカーの安値攻勢に押されている。

シェアを伸ばしているのが韓国サムスン電子。スマホ「ギャラクシー」シリーズがヒットした。米アップルもスマホ「iPhone」の人気が高く初めて3位に食い込んだ。

【パソコン】先進国を中心に購買意欲が低迷する一方、新興国で需要が拡大、世界出荷は微増にとなった。米ヒューレット・パッカード（HP）と米デルがそれぞれ1、2位を維持したものの、シェアは伸ばせなかった。

急伸したのは3位の中国レノボ・グループ。中国を中心に販売が拡大しており、日本ではNECと提携したことで認知度も高まっている。

【タブレット】タブレット（多機能携帯端末）の先駆けともいえる「iPad（アイパッド）」シリーズが好調な米アップルが2年連続でシェア首位。個人向けだけでなく法

てい 対 ト（ の「 用し ・ド で持 サイ を高 参入 中心 た。

スマートフォン

①サムスン電子(韓)	19.1(11.6)
②アップル(米)	18.8(3.2)
③ノキア(フィンランド)	15.6(▲17.2)
3社合計	53.5(▲10.9)
④リサーチ・イン・モーション(カナダ)	10.3(▲5.7)
⑥宏達国際電子(HTC)(台)	8.8(1.7)
出荷台数	4億9442万台(62.0)

出所：米IDC

韓国サムスン電子は幅広い品ぞろえでスマホ市場トップに

スマホ用OS

①アンドロイド(グーグル)(米)	46.5(24.0)
②iOS(アップル)(米)	18.9(3.3)
③シンビアン(ノキア)(フィンランド)	18.7(▲18.6)
3社合計	84.1(8.7)
④リサーチ・イン・モーション(カナダ)	10.9(▲5.7)
⑥bada(サムスン電子)(韓)	2.0(0.8)
スマホ出荷台数	4億7000万台(58.0)

出所：米ガートナー

携帯電話端末

①ノキア(フィンランド)	24.3(▲4.1)
②サムスン電子(韓)	19.3(1.7)
③アップル(米)	5.4(―)
3社合計	49.0(▲4.3)
④LG電子(韓)	5.1(▲2.2)
⑥中興通訊（ZTE）（中）	4.0(0.8)
出荷台数	17億1600万台(7.5)

出所：米IDC

パソコン

市場14%拡

ネット広告

【検索エンジン】米グーグルが圧倒的な強さで首位を守ったが、シェアは0・7ポイント下げた。中国の百

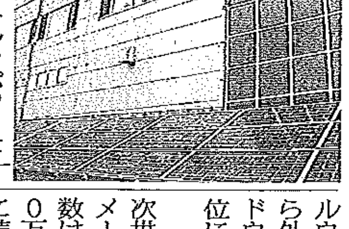
2位 術開 との く。 百 シア

中国勢1、3位

太陽電池

【太陽電池】太陽電池市場（生産量ベース）は発電能力で1・4倍の約3478万8000キロワットだった。固定価格買い取り制度の見直しで欧州市場が急速に冷え込んだ影響で、伸びは鈍化した。シェア上位には中国勢の顔ぶれが目立つ。サンテックパワーは2年連続で首位。3位のインリー・グリーンエナジーホールディングスや4位のトリナソーラーなどが積極的な設備投資を背景に上位を維持した。

ただ、今年4月には独大手Qセルズが破綻するなど、太陽電池各社を巡る経営環境は厳しさを増している。再生エネルギーの固定価格買い取り制度が始まった日本は市場拡大が続く見通しだが、中国勢の攻勢が激しさを増すとみられている。



サンテックパワーなど中国勢は安さがシェア拡大の原動力

【風力発電機】デンマークのヴェスタスは首位を守ったが、欧州でのプロジェクトの延期が響いてシェアを落とした。成長をけん引してきた中国は供給過剰で陰りがみえてきており、中国シノベルウインドは上位5位から外れた。中国のゴールドウインドは4位から2位に浮上した。

【スマートメーター】次世代電力計「スマートメーター」の世界出荷台数は11・3%増の2570万台だった。欧米各国に続き中国やブラジル、メキシコなどでも導入の動きが加速。これらの国では地場メーカーが強いケースが多く、欧米トップ3社の合計シェアは5割台に縮小した。

東芝が買収したランディス・ギア（スイス）が25・1%で1位だった。同社は、前回の調査以降に出荷台数を訂正しており、最新データに基づけば10年に続く首位。2位は米アイトロン、3位には米センサスが入り、トップ3社の顔ぶれに変化はなかった。米ゼネラル・エレクトリック（GE）が4位を確保。伊エネルは、スペイン市場で出荷を伸ばし5位に浮上した。

【水処理膜（RO膜）】水不足で海水を浄化する需要が中国、中東など各地で高まっている。ダウ・ケミカルは新興国を中心に広く実績を積み上げ、1位を確保した。2位の日東電工はオーストラリアのメルボルン、アデレード、3位の東レは中国の山東省、河北省の淡水化プラントなどに納品し、順次稼働している。4位の東洋紡を含め寡占状態が続く一方、後発組の参入も目立っている。

パナソニック、統合で首位

リチウムイオン電池

【リチウムイオン電池】世界出荷量は10%増の約43億900万セルだった。前年首位の三洋電機を事業統合したパナソニックが17・5ポイント増の23・5%とシェアを大きく伸ばし、韓国サムスンSDIを抜いて初めて首位に立った。

ただ、携帯電話やノートパソコンなどに使われる民生用の価格下落は激しく、韓国勢との競合が続く。パナソニックとサムスンSDIとの差はわずか0・3ポイント。パナソニック・三洋電機の2社合計のシェアは10年の25・8%から低下したほか、ソニーもシェアを落としており、日本勢の地盤沈下が目立った。

【液晶パネル】韓国LGディスプレーが大型・中小型パネルともにシェアを伸ばし、サムスンディスプレーを上回った。スマホ向けの需要が堅調だった。価格競争が激化するなか、低い生産コストが強みの奇美電子や友達光電といった台湾勢も健闘した。

シャープはテレビ向けの不調でシェアを落とした。東芝、日立製作所、ソニーは中小型パネル事業を統合してジャパンディスプレイを発足、韓台勢に対抗する。

【プラズマパネル】出荷金額は11・1%の減少となった。パナソニックはテレビの不振で、プラズマパネル生産を縮小。9ポイントシェアを落とし、2位に後退した。パナソニックが落としたシェアを中韓3社が分け合った。

ただ、韓国サムスングループは、有機EL（エレクトロ・ルミネッセンス）に軸足を移すなど、プラズマパネルの需要はさらに減る可能性が高い。

【有機ELパネル】韓国サムスンディスプレーが8・3ポイントもシェアを伸ばし、88%と圧倒的首位に立った。自社のスマホ「ギャラクシー」シリーズなどに採用しており、最終製品の人気とともに他社を引き離す。

スマホに加え12年内にも有機ELテレビを発売する。LG電子も同様の計画で、市場は高い伸びが続きそうだ。韓国勢が先行するが、東芝、日立製作所、ソニーの中小型パネル事業の統合会社、ジャパンディスプレイが13年にも参入して追い上げを狙う。

【白色LED】市場は32・8%増と大きく成長した。従来大きな割合を占めた液晶テレビのバックラ

荷の を受 やオ を置 Dと

タイ洪水響き トップが交代

HDD

【HDD】タイ大洪水がハードディスク駆動装置（HDD）業界に大きな影響を与えた。米ウエスタン・デジタルの主力工場が被災し、東芝の工場も

ス基 K、 工場 これ あま ーゲ のシ

ストレージ

太陽電池

①サンテックパワー（中）	5.8(▲0.7)
②ファーストソーラー（米）	5.7(▲0.1)
③インリー・グリーンエナジーホールディングス（中）	4.8(0.2)
3社合計	16.3(▲0.6)
④トリナソーラー（中）	4.3(▲0.3)
⑥カナディアンソーラー（カナダ）	4.0(―)
世界生産量（発電能力ベース）	3478万8000キロワット(40.0)

出所：米PVニュース

風力発電機

①ヴェスタス（デンマーク）	12.9(▲1.9)
②ゴールドウインド（中）	9.4(▲0.1)
③GEウインド（米）	8.8(▲0.8)
3社合計	31.1(▲2.8)
④ガメサ（スペイン）	8.2(1.6)
⑤エネルコン（独）	7.9(0.7)
新規稼働設備能力	4035万キロワット(2.4)

出所：BTMコンサルトの調査をもとに日経が推定

スマートメーター

①ランディス・ギア（スイス）	25.1(▲3.7)
②アイトロン（米）	19.9(▲2.3)
③センサス（米）	8.7(▲1.6)
3社合計	53.7(▲7.6)
④ゼネラル・エレクトリック（米）	8.5(0.7)
⑤エネル（伊）	7.6(4.5)
出荷台数	2570万台(11.3)

出所：米IDC

水処理膜（RO膜）

①ダウ・ケミカル（米）	32.1(0.1)
②日東電工	28.1(▲0.9)
③東レ	27.5(▲1.5)
3社合計	87.7(▲2.3)
④東洋紡	7.8(▲0.2)
出荷額	6億6000万ドル(9.0)

出所：日経推定

リチウムイオン電池

①パナソニック	23.5(17.5)
②サムスンSDI（韓）	23.2(3.5)
③LG化学（韓）	16.2(1.8)
3社合計	62.9(9.0)
④ソニー	8.5(▲2.9)
⑤BYD（中）	5.1(▲0.5)
出荷量	43億900万セル(10.0)

出所：全体、シェアともにテクノ・システム・リサーチの調査をもとに日経推定

液晶パネル

①LGディスプレー（韓）	22.4(0.8)
②サムスンディスプレー（韓）	21.2(▲1.7)
③奇美電子（台）	15.2(0.9)
3社合計	58.8(0.0)
④友達光電（台）	14.2(0.1)
⑥シャープ	9.3(▲1.5)
出荷額	1019億ドル(▲5.2)

出所：米NPDディスプレイサーチのデータを元に算出

プラズマパネル

①サムスンSDI（韓）	35.4(3.6)
②パナソニック	33.8(▲9.0)
③LG電子（韓）	25.2(2.1)
3社合計	94.4(▲3.3)
④四川長虹電器（中）	5.5(3.3)
出荷額	43億5000万ドル(▲11.1)

出所：米NPDディスプレイサーチ

有機ELパネル

①サムスンディスプレー（韓）	88.0(8.3)
②ビジョノックス（中）	2.2(▲0.4)
③ライトディスプレイ（台）	1.9(▲3.2)
3社合計	92.1(2.7)
④ワイズチップ（台）	1.7(0.0)
⑥ソニー	1.6(1.6)
出荷額	38億7200万ドル(143.0)

出所：米NPDディスプレイサーチ

白色LED

3位の中
ープ。中
が拡大し
はNEC
で認知度
。
」タブレ
帯端末）
える「i
ッド）」
な米アッ
でシェア
だけでなく法人向けの需要も増えている。

対抗するのは基本ソフト（OS）に米グーグルの「アンドロイド」を採用した機種。米アマゾン・ドット・コムは低価格で持ち運びしやすい7インチサイズが人気で、シェアを高めた。2011年に参入したソニーは国内を中心に販売が堅調だった。

14%拡大、3社で4割

広告

ン」米グ
な強さで
、シェア
た。中国の百度は0・4ポイント上げて2位。3位のヤフーは技術開発で1位のグーグルとの差が開き、苦戦が続く。

百度や5位となったロシアのヤンデックスは、ネット人口が増える新興国をベースに、シェアを拡大した。世界的なカバー率では米グーグルの牙城は崩れていないものの、今後も新興国勢の高い成長率が、シェア動向に大きな影響を及ぼしそうだ。

【ネット広告】市場規模は61億5000万ドルで14・2%増加した。欧米ではネットを使った販売促進に対して大手企業の需要が旺盛で、けん引役となっている。新興国でもネット普及率の高まりとともに需要が伸びている。

英WPP傘下の米ウンダーマンがトップで、米オグルヴィ・アンド・メイザーが2位となった。3位は独立系の米サピエント・ニトロで、シェアを伸ばした。上位3社で市場全体の4割超を占めた。

【セキュリティー対策ソフト】スマホ向けや新興国での需要拡大で、市場は7・5%伸びた。順位に変動はなく、1位は米シマンテックでシェアを1・7ポイント拡大した。情報漏洩を防ぐ「DLP」という新製品やスマホ製品が好調だった。米マカフィーは買収がなく画期的な新製品投入もなかったため売り上げが減り、シェアを3・5ポイント下げた。

【音楽ソフト】全体の市場規模は3%減の166億4600万ドルで、縮小傾向が続いた。4大レーベルが強く、合計でシェアの7割以上を占めた。1位は米ユニバーサル・ミュージック・グループだった。ただシェアは上位4社中3社が下げた。

④LG電子(韓)	5.1(▲2.2)
⑤中興通訊（ZTE）(中)	4.0(0.8)
出荷台数	17億1600万台(7.5)

出所：米IDC

パソコン

①ヒューレット・パッカード(米)	17.1(▲0.8)
②デル (米)	12.2(0.0)
③レノボ・グループ (中)	12.1(2.5)
3社合計	41.4(1.7)
④宏碁(エイサー)(台)	10.2(▲1.9)
⑤華碩電脳(アスース)(台)	5.7(0.6)
世界出荷台数	3億6452万台(1.8)

出所：米IDC

タブレット

①アップル(米)	41.4(▲4.4)
②アマゾン・ドット・コム(米)	22.3(0.5)
③バーンズ・アンド・ノーブル(米)	7.2(▲0.5)
3社合計	70.9(▲4.4)
④サムスン電子(韓)	4.5(▲0.2)
⑤ソニー	1.9(—)
出荷台数	9776万8000台(202.6)

出所：米IDC

検索エンジン

①グーグル(米)	69.9(▲0.7)
②百度 (中)	9.6(0.4)
③ヤフー (米)	6.3(▲1.2)
3社合計	85.8(▲1.5)
④マイクロソフト (米)	3.0(▲0.8)
⑤ヤンデックス (ロシア)	2.5(0.5)
パソコンによるサイトからの検索回数	1兆4003億回(18.0)

出所：市場規模は米コムスコア調べ。10年市場規模とシェアは日経推定

ネット広告

①ウンダーマン(米)	16.2(▲0.4)
②オグルヴィ・アンド・メイザー(米)	14.1(▲0.9)
③サピエント・ニトロ(米)	11.5(1.4)
3社合計	41.8(0.1)
④ドラフト・エフシービー(米)	9.4(▲0.5)
⑤ディジタス(米)	9.0(0.0)
売上高	61億5000万ドル(14.2)

出所：英アドエイジ

セキュリティー対策ソフト

①シマンテック (米)	20.6(1.7)
②インテル(マカフィー)(米)	6.9(▲3.5)
③トレンドマイクロ	6.8(0.5)
3社合計	34.3(▲1.3)
④IBM (米)	5.3(0.4)
⑤EMC (米)	4.0(0.2)
販売額	177億1510万ドル(7.5)

出所：米ガートナー

音楽ソフト

①ユニバーサル・ミュージック・グループ (米)	27.9(▲0.8)
②ソニー・ミュージック・エンタテインメント (米)	21.9(▲1.1)
③ワーナー・ミュージック・グループ (米)	15.1(0.2)
3社合計	64.9(▲1.7)
④EMI (英)	9.9(▲0.3)
売上高	166億4600万ドル(▲3.0)

出所：国際レコード産業連盟(IFPI)

」シリー
ており、
ともに
。
12年内に
ビを発売
も同様の
高い伸び
韓国勢が
芝、日立
の中小型
合会社、
プレイが
て追い上
】市場は
きく成長
な割合を
ビのバックライト用途がテレビ出荷の世界的な減速の影響を受けたが、LED電球やオフィスなどの蛍光灯を置き換える直管型LEDといった新用途を開拓。アジア各国で販売を伸ばした。スマホの爆発的な普及により中小型液晶向けLEDバックライトの需要が伸びたことも市場拡大につながった。

【き
代
。米ウエ
ルの主力
東芝の工場も被害を受けた。ガラス基板の旭硝子やTDK、日本電産などの部品工場にも影響があった。これにより洪水の影響をあまり受けなかった米シーゲート・テクノロジーのシェアが拡大、ウエスタンと入れ替わり首位に浮上した。東芝は09年に富士通から取得した3・5型事業が加わり、シェアを伸ばした。

【サーバー】自社でサーバーなどの機器を持たず、専門業者に委託する流れが追い風になっている。サーバー出荷額は5・7%増の522億3700万ドルだった。今後もデータを保存するために必要なサーバーの需要は高まる見通し。新製品を投入した米IBMが0・2ポイント上昇、ヒューレット・パッカードは2・0ポイント低下と明暗が分かれた。3位のデルを合わせた3社合計のシェアは1・1ポイント縮小した。

【NAND型フラッシュメモリー】スマホやタブレット向けが好調で市場は拡大傾向にある。最大手の韓国サムスン電子も売り上げが拡大したものの、供給過剰による市場価格の低下が響き、結果的にシェアは低下した。東芝は2011年7月に四日市工場に新製造棟を稼働させ、最先端品を増産。「iPhone」向け大口需要などの追い風があったが、円高の影響などでシェアが低下した。

【SSD】出荷の増加と低価格化が同時に進んでいる。上位4社はいずれもSSDの主要部品であるNAND型フラッシュメモリーを製造する。特に1位のサムスン電子と3位の東芝はNAND型フラッシュメモリー大手であり、価格競争で有利に働いた。前回の10位から4位に入った米マイクロン・テクノロジーは2位の米インテルと共同でNANDフラッシュを製造しており、コスト面で優位性があった。

【ストレージ】出荷額は10・7%増だった。EMC、IBM、ネットアップの米「3強」の順位は変わらず、4位のヒューレット・パッカードが追う。首位のEMCがシェアを伸ばした分、上位3社合計のシェアは拡大した。業界では顧客企業が経営指標の予測などで膨大なデータ「ビッグデータ」を保存し活用する動きが広がる一方、ストレージを使うデータセンターの容量不足などが指摘されている。

【ルーター】市場は1・9%減の28億10万ドルで北米と欧州は欧州危機、日本は東日本大震災が影響した。1位は米シスコシステムズで3・2ポイント減らしたものの圧倒的なシェアを持つ。2位の中国ファーウェイと3位の米ヒューレット・パッカードは低価格製品を出荷。それぞれ1・1ポイント、2・8ポイントずつ増加してシスコのシェアを奪った。

【DRAM】生産性の高さとウォン安で競争力を発揮した韓国サムスン電子の強さが目立った。2位のSKハイニックスもシェアを拡大。3位以下は軒並みシェアを落とした。会社更生法適用を申請したエルピーダメモリは円高が重荷となり、製造コストで上位2社に水をあけられた。米マイクロン・テクノロジーがエルピーダの買収を決定、競争力を高めてシェア拡大を狙う。

④ワイズチップ(台)	1.7(0.0)
⑤ソニー	1.6(1.6)
出荷額	38億7200万ドル(143.0)

出所：米NPDディスプレイサーチ

白色LED

①日亜化学工業	28.8(1.0)
②サムスンLED (韓)	13.6(0.0)
③LGイノテック (韓)	9.8(▲0.1)
3社合計	52.2(0.9)
④フィリップス・ルミレッズ(米)	8.7(0.5)
⑤ソウルセミコンダクター(韓)	8.2(▲0.5)
出荷個数	841億個(32.8)

出所：テクノ・システム・リサーチ

HDD

①シーゲート・テクノロジー(米)	31.8(1.8)
②ウエスタン・デジタル(米)	30.5(▲0.8)
③日立グローバルストレージテクノロジーズ(現HGSTジャパン)	16.8(▲0.7)
3社合計	79.1(0.3)
④東芝	12.6(1.7)
⑤サムスン電子 (韓、現シーゲート・テクノロジー)	8.2(▲2.1)
出荷台数	6億2200万台(▲4.5)

出所：米IDC

サーバー

①IBM(米)	31.5(0.2)
②ヒューレット・パッカード(米)	29.3(▲2.0)
③デル(米)	15.0(0.7)
3社合計	75.8(▲1.1)
④オラクル(米)	6.2(2.8)
⑤富士通	4.8(0.3)
出荷額	522億3700万ドル(5.7)

出所：米IDC

NAND型フラッシュメモリー

①サムスン電子(韓)	37.0(▲1.6)
②東芝	31.6(▲2.3)
③マイクロン・テクノロジー(米)	11.9(0.2)
3社合計	80.5(▲3.7)
④SKハイニックス(旧ハイニックス半導体、韓)	11.8(1.9)
⑤インテル(米)	7.3(1.6)
出荷額	212億ドル(12.2)

出所：IHSアイサプライ

SSD

①サムスン電子 (韓)	19.1(1.6)
②インテル (米)	15.7(1.9)
③東芝	13.5(0.2)
3社合計	48.3(3.7)
④マイクロン・テクノロジー(米)	5.2(2.9)
⑤OCZテクノロジー・グループ(米)	5.2(1.0)
出荷額	57億6600万ドル(139.0)

出所：米ガートナー

ストレージ

①EMC(米)	28.5(3.0)
②IBM(米)	13.5(▲0.2)
③ネットアップ(米)	12.4(1.3)
3社合計	54.4(4.0)
④ヒューレット・パッカード(米)	10.7(▲0.3)
⑤日立製作所	8.8(0.6)
出荷額	235億100万ドル(10.7)

出所：米IDC

ルーター

①シスコシステムズ (米)	74.3(▲3.2)
②華為技術（ファーウェイ）(中)	9.2(1.1)
③ヒューレット・パッカード(米)	8.0(2.8)
3社合計	91.5(0.7)
④ジュニパーネットワークス(米)	4.8(0.8)
⑤アドトラン (米)	0.7(▲0.4)
出荷額	28億10万ドル(▲1.9)

出所：米ガートナー

DRAM

①サムスン電子(韓)	42.2(4.8)
②SKハイニックス(旧ハイニックス半導体、韓)	23.0(1.6)
③エルピーダメモリ	13.1(▲3.1)
3社合計	78.3(3.3)
④マイクロン・テクノロジー(米)	11.6(▲1.0)
⑤南亜科技(台)	4.0(▲0.3)
出荷額	295億ドル(▲25.7)

出所：IHSアイサプライ

日経の英文サイト
NIKKEI.com
今日の日経が英語で読める
☑ 日経の主要記事やマーケット情報をリアルタイムに配信！
☑ 中国などのアジア最新情報も充実！
☑ オプションでヴェリタス&過去10年分の記事検索が可能！
基本料金(税込み) 9,450円/6カ月 16,800円/12カ月
NIKKEI.comのお申し込み・お問い合せ専用（日経メディアプロモーション）
☎03-3233-8293 (9:30-17:30 JST weekdays)
✉esupport@nikkeimp.co.jp http://e.nikkei.com

世界へ情報発信！
グローバル時代のコミュニケーションツール
NEW! スマートフォン対応!!
スマートフォン用URL http://e.nikkei.com/s/
無料サンプルキャンペーン実施中
Sweating in Super Mario Land

日経の週刊英文経済紙
THE NIKKEI WEEKLY
日経情報のエッセンスを、毎週英語で！
☑ メルマガ・リスニングサイト配信中！(毎週水曜日配信)
☑ ラジオNIKKEIで解説番組を放送中！(ラジオ・PC・ポッドキャスト)
☑ 各種セミナー開催中！ ※詳しくは下のホームページまで
購読料(税込み) 12,500円/6カ月 21,600円/12カ月
毎週月曜日発行
日経ウィークリーのお申し込み・お問い合せ専用（日経メディアプロモーション）
0120-630-444 (平日午前9:30～午後5:30)
www.nikkei4946.com/sb/